

平成24年度

シラバス

5年次

(臨床実習1・2)



日本大学松戸歯学部

目 次

臨床実習 1 の実施方法	1
臨床実習 1・2 の成績評価	2
班別名簿	4
臨床実習 1 配属表	5
臨床実習 1	
初診科（臨床実習 2 含む）	12
臨床検査科	13
放射線科	14
保存科	15
歯周科	19
補綴科	21
口腔外科	26
矯正歯科	27
小児歯科	28
麻酔・全身管理科	29
特殊歯科	31
再生歯科	33
顎関節・咬合科	34
口腔インプラント科	35
スポーツ健康歯科	37
医科	38
職員技工室の配属	39
臨床実習 2 の実施方法	41
臨床実習 2 配属表	42
臨床実習 2	
臨床検査科	43
放射線科	44
保存科	45
歯周科	47
補綴科	49
口腔外科	51
矯正歯科	52
小児歯科	53
麻酔・全身管理科	54
特殊歯科	56

再生歯科	-----58
顎関節・咬合科	-----59
口腔インプラント科	-----60
スポーツ健康歯科	-----62
医科	-----63
症例検討カンファランス	-----64
院内生担当患者分類フローチャート	-----65

臨床実習1

シラバス

臨床実習 1 の実施方法

I. 4 月

II. 5 月～9 月

1. 実習のシステム

- 1) 現行の 12 班を、第 1 グループ (A・B 班)、第 2 グループ (C・D 班)、第 3 グループ (E・F 班)、第 4 グループ (G・H 班)、第 5 グループ (I・J 班)、第 6 グループ (K・L 班) に 6 分割する。
- 2) セメスターを 6 期に分割する。
- 3) 各グループは、期間単位で配属表に従いローテイトする。

2. 各診療科の臨床実習

- 1) 担当患者さんの診療は担当医員のアポイント帳のもとに行い、配属とは無関係に行う。
- 2) 臨床検査科、特殊歯科は配属により、口腔インプラント科は口腔外科配属期間中に班別実習およびアポイントにて行う。
- 3) 放射線科はセメスター期間を通して配属によって行う。
- 4) 初診科、小児歯科、矯正歯科および麻酔・全管科は、セメスターの期間を通してアポイントにより行う。但し、見学・介補等については期間単位で指定された期間に行う。
- 5) 再生歯科、顎関節・咬合科、スポーツ健康歯科は配属期間中に、医科は、セメスターの期間を通して自由にアポイント等により行う。
- 6) 予診（診断情報）の収集は、日程表に従い行う。
- 7) 全ての診療科の臨床実習は、学生のアポイント帳に実習時間（内容）を記載・検印して行う。

3. 臨床実習ノート

臨床実習における見学・介補、実技等の実習内容の記録として、各診療部の指示により使用する。臨床実習ノートには患者様の氏名、住所、電話番号等は記載してはならない。

患者さんの情報が記載されているためこのノートの管理には十分注意すること。

4. アポイント帳

診療のアポイントに際して予約検印を受け、診療時あるいは診療後に指導医員に終了検印を受ける。見学・介補の際も同様に指導医員欄に検印を受ける。

5. 新患担当

数名の患者さんを担当する。

6. 引継ぎ患者

新患担当患者さんおよび引継ぎ診療患者様とあわせて約 10 数名の患者さんを常に担当する。実習期間に終了、中止等の場合は治療計画書の変更手続き等を治療計画室に必ず届け出ること。随時補充をうけることとなる。

7. 出欠席について

午前 月～土 テーマ別講義 1 で出席調査 8:40

午後 月～金 16:30 土 13:00 各配属先診療科

朝出欠席調査時は院内白衣に着替えておくこと（着替えていない場合欠席とみなす）。

テーマ別講義 1 に関する試験実施日は、朝の出席は試験の出欠をもって行う。

注）臨床実習の実施方法についての詳細は日程表を参照のこと。

平成24年度臨床実習1および2の成績評価方法

1 評価

- 1) 臨床実習1および2それぞれの評価項目は、各診療科におけるローテーションポリクリ、ポートフォリオ、配属先各診療科臨床実習、治療計画に基づく進行状況および臨床能力到達試験（OSCAT）とする。
- 2) 臨床実習1および2の評価項目と重み付けを下記に定め総合評価をもって行う。

2 評価項目

1) 臨床実習1

- ① ポートフォリオ（10%）
- ② 治療計画およびカンファランス（10%）
- ③ 配属先各診療科における臨床実習（60%）
- ④ ローテーションポリクリ（20%）

2) 臨床実習2

- ① ポートフォリオ（10%）
- ② 治療計画およびカンファランス（15%）
- ③ 配属先各診療科における臨床実習（50%）
- ④ 臨床能力到達試験（Objective Structured Clinical Achievement Test: OSCAT）（25%）

3) 配属先各診療科における臨床実習の評価配分

- ① 初診科
- ② 臨床検査科・病理診断科
- ③ 放射線科
- ④ 保存科（再生歯科を含む）
- ⑤ 歯周科
- ⑥ 補綴科（顎関節・咬合科，スポーツ健康歯科を含む）
- ⑦ 口腔外科（口腔インプラント科，医科を含む）
- ⑧ 矯正歯科
- ⑨ 小児歯科
- ⑩ 麻酔・全身管理科
- ⑪ 特殊歯科

3 評価基準

- 1) 評価方法はいずれも100点法で行う。
- 2) 評価項目中、1項目において60点未満の評価があった場合、臨床実習の評価は59点とする。なお、評価点が59点以下の場合は、その点数を以って臨床実習の評価とする。

4 付記

- 1) アポイント帳による配当（担当）患者のアポイント等による評価を加点する場合がある。

5 出欠席

- 1) 臨床実習期間中（診療日全日、但し冬季休業中は除く）は、原則として欠席は認めない。ただし傷病に応じて（診断書を要する）対応するので申し出ること。

2) 欠席時間を次の通り置き換える。

欠席日数 1ポイント 遅刻 0.5ポイント以上 早退 0.5ポイント以上

3) 公用欠席および歯学体等（クラブ部長等の書面を要する）は欠席時間に入れない。

4) 1ヵ月に6ポイント以上の欠席は、部長・科長会に報告される。

5) 22ポイント（1ヵ月）以上の欠席者は審議の対象とする。

6) 欠席、遅刻、早退届けは早急に提出しなければならない。なお、連続して3日以上欠席する場合は、あらかじめ（約1ヵ月前）書面で必要事項を記入し欠席期間を報告しなければならない。

平成24年度 5年次臨床実習1班別名簿(122名)

★ 総班長 阿保 綱孝 金子
☆ 総副班長 石川 隆一 金尾 貴子
○ 班長

A (10名)			B (10名)			C (10名)			D (10名)			E (10名)			F (10名)		
院内番号	学生番号	氏 名	院内番号	学生番号	氏 名	院内番号	学生番号	氏 名	院内番号	学生番号	氏 名	院内番号	学生番号	氏 名	院内番号	学生番号	氏 名
	1 38001	相 澤 真 美	1 38010	砂 治 大 介	江波戸 裕 喜	△ 1 38041	桂 亮 平	△ 1 38051	河 内 恵 理 華	1 38058	齋 藤 由 貴						
	2 38002	足 立 亘	2 38011	井 澤 侑 美	大久保 瑛 実	2 37033	加 藤 健 悟	2 38052	河 野 祐 一 郎	2 38059	佐 藤 博 紀						
	3 38003	安 倍 慧	3 38012	石 川 夢 子	大 谷 顕 嗣	☆○ 3 37036	金 尾 貴 子	3 38053	小 島 早 絵	3 38060	佐 野 素 子						
△	4 38004	阿 部 博 愛	☆○ 4 38013	石 川 隆 一	萩 野 怜	4 37037	金 子 葵	4 38054	後 藤 和 大	4 37056	塩 山 美 玲						
★○	5 38131	阿 保 綱 孝	△ 5 38014	糸 井 玄 太	奥 田 絵 美	5 38043	鹿 野 瑞 貴	5 38132	古 波 蔵 大 祐	5 38062	芝 野 晃 尚						
	6 38005	安 藤 壮 平	6 38016	今 井 悠 介	小 野 あ や	6 36039	菊 地 勇 人	6 36051	五 味 聖 佳	6 38064	澁 谷 駿 佑						
	7 38006	安 藤 花	7 38017	岩 根 健 大	小 野 仁 徳	7 38044	神 山 裕 名	7 38055	小 峰 健 治	△ 7 38065	白 井 優 里						
	8 38008	飯 塚 紀 仁	8 38020	白 井 祐 大	影 島 友 久	8 38045	川 野 裕 貴 子	8 37051	酒 井 曉 弘	8 38066	白 銀 陽 一 朗						
	9 37005	五 十 嵐 憲 太 郎	9 38021	内 之 浦 理 奈	柏 木 章 寛	9 35042	郡 司 一 広	9 38056	小 宮 智 世	9 37059	杉 崎 真 道						
	10 38009	生 田 真 衣	10 38022	江 波 戸 あ り さ	片 山 裕 基	10 38050	小 石 沢 理 央	○ 10 38057	齋 藤 暁	○ 10 38068	鈴 木 到						
G (10名)			H (10名)			I (10名)			J (10名)			K (10名)			L (12名)		
院内番号	学生番号	氏 名	院内番号	学生番号	氏 名	院内番号	学生番号	氏 名	院内番号	学生番号	氏 名	院内番号	学生番号	氏 名	院内番号	学生番号	氏 名
	1 38069	鈴 木 孝 典	1 38077	竹 内 広 樹	富 岡 祥 子	1 37087	野 本 耕 平	△ 1 38106	古 瀬 信 彦	1 37112	八 木 亮						
	2 38070	鈴 木 菜 乃	2 38078	武 田 宗 一 郎	中 井 沙 也 加	2 38099	濱 か づ り	2 38111	星 野 裕 亮	2 38120	安 田 明 弘						
	3 38071	相 馬 悠 也	3 38079	田 島 麻 衣	永 島 秀 晃	3 38100	樋 口 奈 央	3 38112	細 谷 明 生	3 38121	山 口 大 路						
○	4 38072	高 橋 一 彰	4 38080	田 中 啓 慎	中 村 紗 貴	○ 4 38101	平 澤 正 晃	4 37095	堀 籠 百 合 恵	4 36121	山 口 学						
	5 38073	高 橋 佑 次	△ 5 38081	玉 田 沙 佳	中 村 龍 太 郎	5 38102	平 野 哲 章	○ 5 38113	本 間 圭	5 38122	山 崎 美 沙						
△	6 38074	高 橋 優 美	6 38082	張 雲 嘉	生 井 裕 紀	6 36103	藤 城 康 祐	6 36133	前 澤 輝 宗	6 34120	柚 木 陽 介						
	7 33075	高 橋 和 樹	7 37069	塚 田 梨 恵 子	新 谷 亮 弥	7 37092	藤 田 大 幹	7 38117	溝 端 智 美	7 37118	山 本 一 真						
	8 38075	岳 亜 希 子	8 38133	土 井 史 子	西 森 秀 太	8 38103	藤 森 俊 介	8 38118	宮 坂 道 康	8 38123	横 山 友 希						
	9 37070	津 久 井 一 成	9 38083	東 條 浩 之	野 田 一	△ 9 38104	藤 原 敏 史	9 37105	宮 崎 宏 樹	9 38124	吉 田 藍						
	10 38076	竹 内 亜 衣	○ 10 38084	富 樫 佑 也	野 間 大 地	10 38105	古 阪 有	10 38119	桃 原 直	10 37123	吉 田 雅 美						
										△ 11 38126	吉 野 晴 郁						
										○ 12 38128	渡 辺 千 尋						

平成24年度 臨床実習1 配属表

期	1	2	3	4	5	6	
週日+土曜日	14+2	14+3	14+3	18+3	27+1	18+3	
期間	5月1日～5月22日	5月23日～6月11日	6月12日～6月30日	7月1日～7月26日	7月27日～9月3日	9月4日～9月30日	
配当患者の処置							
セメスター期間を通してアポイントによって行う							
班		初診科, 小児歯科, 矯正歯科: セメスター期間中配属, アポイントにより行う 放射線科, 特殊歯科, 臨床検査科: セメスター期間中配属により行う 再生歯科, 顎関節・咬合診療科, スポーツ・睡眠健康歯科, 口腔インプラント科: 班別実習, 配属期間中にアポイントにより行う 麻酔・全身管理科: セメスター2期間の範囲でアポイントにより行う 医科, 予防管理科: 期間中に自由にアポイント等により行う 職員技工室: 配属により行う					
AB	配 属	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科
	ローテイト配属先	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科	麻酔・全身管理科	再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	口腔インプラント科		再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科
CD	配 属	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科
	ローテイト配属先	再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	口腔インプラント科		再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科	麻酔・全身管理科
EF	配 属	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科
	ローテイト配属先		再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科	麻酔・全身管理科	再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	口腔インプラント科
GH	配 属	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科
	ローテイト配属先	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科	麻酔・全身管理科	再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	口腔インプラント科		再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科
IJ	配 属	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科
	ローテイト配属先	再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	口腔インプラント科		再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科	麻酔・全身管理科
KL	配 属	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科
	ローテイト配属先		再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科	麻酔・全身管理科	再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	口腔インプラント科

*配属の詳細日程表を参照のこと

平成24年度

平成24年度				5月																																			
				内 容				方 法				形 式				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22		
																火	水					月	火	水	木	金	土					月	火	水	木	金	土		
												第1期																											
初診科	予診 (患者担当)	4名1組 3日	配 属	I-1	I-5						I-9	J-1	J-5	J-9					K-1	K-5	K-9	L-1													L-5	L-9			
				I-2	I-6						I-10	J-2	J-6	J-10						K-2	K-6	K-10	L-2												L-6	L-10			
				I-3	I-7							J-3	J-7							K-3	K-7		L-3													L-7	L-11		
				I-4	I-8								J-4	J-8							K-4	K-8		L-4												L-8	L-12		
初診実施				2名1組 2日				アポイント																															
放射線科	見 学 ・ 実 技	4名1組 2日連続	配 属	A-1	A-1						A-5	A-5	A-9	A-9	B-1				B-1	B-5	B-5	B-9	B-9										C-1	C-1					
				A-2	A-2						A-6	A-6	A-10	A-10	B-2					B-2	B-6	B-6	B-10	B-10									C-2	C-2					
				A-3	A-3						A-7	A-7			B-3					B-3	B-7	B-7												C-3	C-3				
				A-4	A-4						A-8	A-8			B-4						B-4	B-8	B-8												C-4	C-4			
補綴科				実地・見学・介補等				配 属				CDIJ																											
保存科				実地・見学・介補等				配 属				EFKL																											
歯周科				実地・見学・介補等				配 属				EFKL																											
口腔外科				実地・見学・介補等 病棟見学会				配 属				ABGH																											
小児歯科	見 学 ・ 介 補	木・金・土 2～4名配属	配 属	B-1	B-5									B-9	C-1							D-1	C-5	C-9									C-1	C-1					
				B-2	B-6											B-10	C-2						D-2	C-6	C-10								C-2	C-2					
				B-3	B-7													C-3					D-3	C-7										C-3	C-3				
				B-4	B-8														C-4					D-4	C-8										C-4	C-4			
見 学 ・ 介 補				アポイント																																			
矯正科	症例分析・ 治療計画の立案	4名1組 終日2日	配 属	C-1	C-5						C-9	D-1	D-5	D-9	E-1				E-5	E-9	F-1	F-5	F-9									G-1	G-5						
				C-2	C-6						C-10	D-2	D-6	D-10	E-2				E-6	E-10	F-2	F-6	F-10									G-2	G-6						
				C-3	C-7							D-3	D-7			E-3				E-7	F-3	F-7											G-3	G-7					
				C-4	C-8							D-4	D-8			E-4				E-8	F-4	F-8											G-4	G-8					
アポイント																																							
再生歯科 顎関節咬合診療科 スポーツ健康歯科				見 学 ・ 介 補				アポイント				CDIJ																											
口腔インプラント科				見 学	配属 アポイント	ABGH																																	
						実習											G	H		A	B																		
麻酔・全身管理科				見 学				5～6名1組 1日 (火・木曜日)				アポイント				ABGH																							
特殊歯科				見学・介補・口頭訪問				2名1組 1日 (月～金曜日)				配 属									F-1	F-7	G-1	G-7	H-1				H-7	I-1	I-7	J-1	J-7			K-1	K-7		
臨床検査科				見 学 ・ 介 補				2名1組 1日 (月～金曜日)				配 属									F-2	F-8	G-2	G-8	H-2				H-8	I-2	I-8	J-2	J-8			K-2	K-8		
																					F-3	F-9	G-3	G-9	H-3				H-9	I-3	I-9	J-3	J-9			K-3	K-9		
																					F-4	F-10	G-4	G-10	H-4				H-10	I-4	I-10	J-4	J-10			K-4	K-10		
医 科				見 学				3名1組 1日 (月～金曜日)				アポイント 希望選択																											
技工室								2名1組 (月～金曜日)													F-5	G-5		H-5					I-5	J-5					K-5				
																					F-6	G-6		H-6						I-6	J-6					K-6			
出欠席 午前 歯科医学総合講義5 (月～土 8:40 401) 午後 配属先 17:00 (土:13:00)				保存・補綴科 (4班)				AB/CD																															
				3F再生歯科/スポーツ健康歯科 (2班)				EF																															
				口腔外科 1班				G																															
				歯周科 1班				H																															
				初診科 1班				I																															
				小児歯科 1班				J																															
				放射線科 1/2班				K1～5																															
特殊歯科 1/2班				K6～10																																			
矯正歯科 1班				L																																			

臨床実習1

5月										6月																												
23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
第2期															第3期																							
A-1	A-5	A-9			B-1	B-5	B-9	C-1				D-1	C-9		D-9	D-5		E-1	E-5	F-1	E-9	F-5			F-9	G-1	G-5	G-9	H-1				H-5	H-9	I-1	I-5	I-9	
A-2	A-6	A-10			B-2	B-6	B-10	C-2				D-2	C-10		D-10	D-6		E-2	E-6	F-2	E-10	F-6			F-10	G-2	G-6	G-10	H-2				H-6	H-10	I-2	I-6	I-10	
A-3	A-7				B-3	B-7	C-5	C-3	C-7			D-3				D-7		E-3	E-7	F-3		F-7				G-3	G-7		H-3				H-7		I-3	I-7		
A-4	A-8				B-4	B-8	C-6	C-4	C-8			D-4				D-8		E-4	E-8	F-4		F-8				G-4	G-8		H-4				H-8		I-4	I-8		
C-5	C-9	C-3			C-9	D-1	O-1	D-5	D-9			D-9	D-9	E-1	E-1	E-5		E-5	E-9	E-9	F-1	F-1			F-5	F-5	F-9	F-9	G-1				G-1	G-5	G-5	G-9	G-9	
C-6	C-6	C-10			C-10	D-2	D-2	D-6	D-6			D-10	D-10	E-2	E-2	E-6		E-6	E-10	E-10	F-2	F-2			F-6	F-6	F-10	F-10	G-2				G-2	G-6	G-6	G-10	G-10	
C-7	C-7					D-3	D-3	D-7	D-7					E-3	E-3	E-7		E-7		F-3	F-3			F-7	F-7				G-3				G-3	G-7	G-7			
C-8	C-8					D-4	D-4	D-8	D-8					E-4	E-4	E-8		E-8		F-4	F-4			F-8	F-8				G-4				G-4	G-8	G-8			
EFKL															ABGH																							
ABGH															CDIJ																							
ABGH															CDIJ																							
CDIJ															EFKL																							
		D-5	D-9					E-1	E-5	E-9				F-1	F-5	F-9				G-1	G-5	G-9						H-1	H-5	H-9					I-1	I-5	I-9	
		D-6	D-10					E-2	E-6	E-10				F-2	F-6	F-10				G-2	G-6	G-10						H-2	H-6	H-10					I-2	I-6	I-10	
		D-7						E-3	E-7					F-3	F-7					G-3								H-3	H-7					I-3	I-7			
		D-8						E-4	E-8					F-4	F-8					G-4								H-4	H-8					I-4	I-8			
G-9	H-1	H-5			H-9	I-1	I-5	I-9	J-1			J-5	J-9	K-1	K-5	K-9		L-1	L-5	L-9						A-1	A-5	A-9	B-1	B-5			B-9	C-1	C-5	C-9		
G-10	H-2	H-6			H-10	I-2	I-6	I-10	J-2			J-6	J-10	K-2	K-6	K-10		L-2	L-6	L-10						A-2	A-6	A-10	B-2	B-6			B-10	C-2	C-6	C-10		
	H-3	H-7				I-3	I-7		J-3			J-7		K-3	K-7			L-3	L-7	L-11						A-3	A-7		B-3	B-7				C-3	C-7			
	H-4	H-8				I-4	I-8		J-4			J-8		K-4	K-8			L-4	L-8	L-12						A-4	A-8		B-4	B-8				C-4	C-8			
EFKL															ABGH																							
CDIJ															EFKL																							
I	D				C	J												K	L														E					
ABGH															EFKL																							
L-1	L-7				A-1	A-7	B-1	B-7	C-1			C-7	D-1	D-7	E-1		F-5	G-5	H-5						I-5		J-5					X-5		L-5	L-11	A-5		
L-2	L-8				A-2	A-8	B-2	B-8	C-2			C-8	D-2	D-8	E-2		F-6	G-6	H-6						I-6		J-6					X-6		L-6	L-12	A-6		
L-3	L-9				A-3	A-9	B-3	B-9	C-3			C-9	D-3	D-9	E-3		F-1	F-7	G-1	G-7	H-1				H-7	I-1	I-7	J-1	J-7		X-1	X-7	L-1	L-7	A-1			
L-4	L-10				A-4	A-10	B-4	B-10	C-4			C-10	D-4	D-10	E-4		F-2	F-8	G-2	G-8	H-2				H-8	I-2	I-8	J-2	J-8		X-2	X-8	L-2	L-8	A-2			
L-5	L-11				A-5		B-5		C-5			D-5		E-5		F-3	F-9	G-3	G-9	H-3					H-9	I-3	I-9	J-3	J-9		X-3	X-9	L-3	L-9	A-3			
L-6	L-12				A-6		B-6		C-6			D-6		E-6		F-4	F-10	G-4	G-10	H-4					H-10	I-4	I-10	J-4	J-10		X-4	X-10	L-4	L-10	A-4			
GH/IJ															AB/CD																							
KL															EF																							
A															G																							
B															H																							
C															I																							
D															J																							
E1~5															K1~5																							
E6~10															K6~10																							
F															L																							

平成24年度

平成24年度	内 容 方 法 形 式			7 月																								
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
				日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	
				第4期																								
初診科	予診（患者担当）	4名1組 3日	配 属		J-1	J-5	J-9	K-1	K-5				K-9	L-1	L-5	L-9	A-1				A-5	A-9	B-1	B-5			B-9	C-1
	初診実施	2名1組 2日	アポイント		J-2	J-6	J-10	K-2	K-6				K-10	L-2	L-6	L-10	A-2				A-6	A-10	B-2	B-6			B-10	C-2
				J-3	J-7		K-3	K-7					L-3	L-7	L-11	A-3				A-7		B-3	B-7				C-3	
				J-4	J-8		K-4	K-8					L-4	L-8	L-12	A-4				A-8		B-4	B-8				C-4	
放射線科	見 学 ・ 実 技	4名1組 2日連続	配 属	H-1	H-1	H-5	H-5	H-9				H-9	I-1	I-1	I-5	I-5				I-9	I-9	J-1	J-1				J-5	J-5
				H-2	H-2	H-6	H-6	H-10				H-10	I-2	I-2	I-6	I-6				I-10	I-10	J-2	J-2				J-6	J-6
				H-3	H-3	H-7	H-7					I-3	I-3	I-7	I-7							J-3	J-3				J-7	J-7
				H-4	H-4	H-8	H-8					I-4	I-4	I-8	I-8							J-4	J-4				J-8	J-8
補綴科	実地・見学・介補等		配 属	CDIJ																								
保存科	実地・見学・介補等		配 属	EFKL																								
歯周科	実地・見学・介補等		配 属	EFKL																								
口腔外科	実地・見学・介補等 病棟見学会		配 属	ABGH																								
小児歯科	見 学 ・ 介 補	木・金・土 2～4名配属	配 属					J-1	J-5	J-9							K-1	K-5									K-9	
	見 学 ・ 介 補		アポイント					J-2	J-6	J-10							K-2	K-6									K-10	
				J-3	J-7												K-3	K-7										
				J-4	J-8												K-4	K-8										
矯正科	症例分析・ 治療計画の立案	4名1組 終日2日	配 属	D-1	D-5	D-9	E-1	E-5				E-9	F-1	F-5	F-9	G-1				G-5	G-9	H-1	H-5				H-9	I-1
				D-2	D-6	D-10	E-2	E-6				E-10	F-2	F-6	F-10	G-2				G-6	G-10	H-2	H-6				H-10	I-2
				D-3	D-7		E-3	E-7					F-3	F-7		G-3				G-7		H-3	H-7					I-3
				D-4	D-8		E-4	E-8					F-4	F-8		G-4				G-8		H-4	H-8					I-4
			アポイント																									
再生歯科 顎関節咬合診療科 スポーツ健康歯科	見 学 ・ 介 補		アポイント	CDIJ																								
口腔インプラント科	見 学		配属 アポイント	ABGH																								
			実習																									
麻酔・全身管理科	見 学	5～6名1組 1日 (火・木曜日)	アポイント	EFKL																								
特殊歯科	見学・介補・口腔拭問	2名1組 1日 (月～金曜日)	配 属			B-5		C-5				D-5		E-5						F-5	F-9					G-5	G-9	
						B-6		C-6				D-6		E-6						F-6	F-10					G-6	G-10	
臨床検査科	見学・介補	2名1組 1日 (月～金曜日)	配 属		A-7	B-1	B-7	C-1	C-7			D-1	D-7	E-1	E-7					F-1						G-1		
					A-8	B-2	B-8	C-2	C-8			D-2	D-8	E-2	E-8					F-2						G-2		
医 科	見 学	3名1組 1日 (月～金曜日)	アポイント 希望選択																									
技工室		2名1組 (月～金曜日)			A-9	B-3	B-9	C-3	C-9			D-3	D-9	E-3	E-9					F-3	F-7					G-3	G-7	
					A-10	B-4	B-10	C-4	C-10			D-4	D-10	E-4	E-10					F-4	F-8					G-4	G-8	
出欠席 午前 歯科医学総合講義5 (月～土 8:40 401) 午後 配属先 17:00 (土:13:00)	保存・補綴科 (4班)			GH/IJ																								
	3F再生歯科/ｽﾎｰﾂ健康歯科 (2班)			KL																								
	口腔外科 1班			A																								
	歯周科 1班			B																								
	初診科 1班			C																								
	小児歯科 1班			D																								
	放射線科 1/2班			E1～5																								
	特殊歯科 1/2班			E6～10																								
	矯正歯科 1班			F																								

臨床実習1

7月												8月												9月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
第5期																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
C-5	C-6	C-7	C-8	D-1	D-2	D-3	D-4	D-5	D-6	D-7	D-8	D-9	D-10	E-1	E-2	E-3	E-4	E-5	E-6	E-7	E-8	E-9	E-10	F-1	F-2	F-3	F-4	F-5	F-6	F-7	F-8	F-9	F-10	G-1	G-2	G-3	G-4	G-5	G-6	G-7	G-8	G-9	G-10	H-1	H-2	H-3	H-4	H-5	H-6	H-7	H-8	H-9	H-10	I-1	I-2	I-3	I-4	I-5	I-6	I-7	I-8	I-9	I-10	J-1	J-2	J-3	J-4	J-5	J-6	J-7	J-8	J-9	J-10	K-1	K-2	K-3	K-4	K-5	K-6	K-7	K-8	K-9	K-10	L-1	L-2	L-3	L-4	L-5	L-6	L-7	L-8	L-9	L-10	L-11	L-12	M-1	M-2	M-3	M-4	M-5	M-6	M-7	M-8	M-9	M-10	N-1	N-2	N-3	N-4	N-5	N-6	N-7	N-8	N-9	N-10	O-1	O-2	O-3	O-4	O-5	O-6	O-7	O-8	O-9	O-10	P-1	P-2	P-3	P-4	P-5	P-6	P-7	P-8	P-9	P-10	Q-1	Q-2	Q-3	Q-4	Q-5	Q-6	Q-7	Q-8	Q-9	Q-10	R-1	R-2	R-3	R-4	R-5	R-6	R-7	R-8	R-9	R-10	S-1	S-2	S-3	S-4	S-5	S-6	S-7	S-8	S-9	S-10	T-1	T-2	T-3	T-4	T-5	T-6	T-7	T-8	T-9	T-10	U-1	U-2	U-3	U-4	U-5	U-6	U-7	U-8	U-9	U-10	V-1	V-2	V-3	V-4	V-5	V-6	V-7	V-8	V-9	V-10	W-1	W-2	W-3	W-4	W-5	W-6	W-7	W-8	W-9	W-10	X-1	X-2	X-3	X-4	X-5	X-6	X-7	X-8	X-9	X-10	Y-1	Y-2	Y-3	Y-4	Y-5	Y-6	Y-7	Y-8	Y-9	Y-10	Z-1	Z-2	Z-3	Z-4	Z-5	Z-6	Z-7	Z-8	Z-9	Z-10	AA-1	AA-2	AA-3	AA-4	AA-5	AA-6	AA-7	AA-8	AA-9	AA-10	AB-1	AB-2	AB-3	AB-4	AB-5	AB-6	AB-7	AB-8	AB-9	AB-10	AC-1	AC-2	AC-3	AC-4	AC-5	AC-6	AC-7	AC-8	AC-9	AC-10	AD-1	AD-2	AD-3	AD-4	AD-5	AD-6	AD-7	AD-8	AD-9	AD-10	AE-1	AE-2	AE-3	AE-4	AE-5	AE-6	AE-7	AE-8	AE-9	AE-10	AF-1	AF-2	AF-3	AF-4	AF-5	AF-6	AF-7	AF-8	AF-9	AF-10	AG-1	AG-2	AG-3	AG-4	AG-5	AG-6	AG-7	AG-8	AG-9	AG-10	AH-1	AH-2	AH-3	AH-4	AH-5	AH-6	AH-7	AH-8	AH-9	AH-10	AI-1	AI-2	AI-3	AI-4	AI-5	AI-6	AI-7	AI-8	AI-9	AI-10	AJ-1	AJ-2	AJ-3	AJ-4	AJ-5	AJ-6	AJ-7	AJ-8	AJ-9	AJ-10	AK-1	AK-2	AK-3	AK-4	AK-5	AK-6	AK-7	AK-8	AK-9	AK-10	AL-1	AL-2	AL-3	AL-4	AL-5	AL-6	AL-7	AL-8	AL-9	AL-10	AM-1	AM-2	AM-3	AM-4	AM-5	AM-6	AM-7	AM-8	AM-9	AM-10	AN-1	AN-2	AN-3	AN-4	AN-5	AN-6	AN-7	AN-8	AN-9	AN-10	AO-1	AO-2	AO-3	AO-4	AO-5	AO-6	AO-7	AO-8	AO-9	AO-10	AP-1	AP-2	AP-3	AP-4	AP-5	AP-6	AP-7	AP-8	AP-9	AP-10	AQ-1	AQ-2	AQ-3	AQ-4	AQ-5	AQ-6	AQ-7	AQ-8	AQ-9	AQ-10	AR-1	AR-2	AR-3	AR-4	AR-5	AR-6	AR-7	AR-8	AR-9	AR-10	AS-1	AS-2	AS-3	AS-4	AS-5	AS-6	AS-7	AS-8	AS-9	AS-10	AT-1	AT-2	AT-3	AT-4	AT-5	AT-6	AT-7	AT-8	AT-9	AT-10	AU-1	AU-2	AU-3	AU-4	AU-5	AU-6	AU-7	AU-8	AU-9	AU-10	AV-1	AV-2	AV-3	AV-4	AV-5	AV-6	AV-7	AV-8	AV-9	AV-10	AW-1	AW-2	AW-3	AW-4	AW-5	AW-6	AW-7	AW-8	AW-9	AW-10	AX-1	AX-2	AX-3	AX-4	AX-5	AX-6	AX-7	AX-8	AX-9	AX-10	AY-1	AY-2	AY-3	AY-4	AY-5	AY-6	AY-7	AY-8	AY-9	AY-10	AZ-1	AZ-2	AZ-3	AZ-4	AZ-5	AZ-6	AZ-7	AZ-8	AZ-9	AZ-10	BA-1	BA-2	BA-3	BA-4	BA-5	BA-6	BA-7	BA-8	BA-9	BA-10	BB-1	BB-2	BB-3	BB-4	BB-5	BB-6	BB-7	BB-8	BB-9	BB-10	BC-1	BC-2	BC-3	BC-4	BC-5	BC-6	BC-7	BC-8	BC-9	BC-10	BD-1	BD-2	BD-3	BD-4	BD-5	BD-6	BD-7	BD-8	BD-9	BD-10	BE-1	BE-2	BE-3	BE-4	BE-5	BE-6	BE-7	BE-8	BE-9	BE-10	BF-1	BF-2	BF-3	BF-4	BF-5	BF-6	BF-7	BF-8	BF-9	BF-10	BG-1	BG-2	BG-3	BG-4	BG-5	BG-6	BG-7	BG-8	BG-9	BG-10	BH-1	BH-2	BH-3	BH-4	BH-5	BH-6	BH-7	BH-8	BH-9	BH-10	BI-1	BI-2	BI-3	BI-4	BI-5	BI-6	BI-7	BI-8	BI-9	BI-10	BJ-1	BJ-2	BJ-3	BJ-4	BJ-5	BJ-6	BJ-7	BJ-8	BJ-9	BJ-10	BK-1	BK-2	BK-3	BK-4	BK-5	BK-6	BK-7	BK-8	BK-9	BK-10	BL-1	BL-2	BL-3	BL-4	BL-5	BL-6	BL-7	BL-8	BL-9	BL-10	BM-1	BM-2	BM-3	BM-4	BM-5	BM-6	BM-7	BM-8	BM-9	BM-10	BN-1	BN-2	BN-3	BN-4	BN-5	BN-6	BN-7	BN-8	BN-9	BN-10	BO-1	BO-2	BO-3	BO-4	BO-5	BO-6	BO-7	BO-8	BO-9	BO-10	BP-1	BP-2	BP-3	BP-4	BP-5	BP-6	BP-7	BP-8	BP-9	BP-10	BQ-1	BQ-2	BQ-3	BQ-4	BQ-5	BQ-6	BQ-7	BQ-8	BQ-9	BQ-10	BR-1	BR-2	BR-3	BR-4	BR-5	BR-6	BR-7	BR-8	BR-9	BR-10	BS-1	BS-2	BS-3	BS-4	BS-5	BS-6	BS-7	BS-8	BS-9	BS-10	BT-1	BT-2	BT-3	BT-4	BT-5	BT-6	BT-7	BT-8	BT-9	BT-10	BU-1	BU-2	BU-3	BU-4	BU-5	BU-6	BU-7	BU-8	BU-9	BU-10	BV-1	BV-2	BV-3	BV-4	BV-5	BV-6	BV-7	BV-8	BV-9	BV-10	BW-1	BW-2	BW-3	BW-4	BW-5	BW-6	BW-7	BW-8	BW-9	BW-10	BX-1	BX-2	BX-3	BX-4	BX-5	BX-6	BX-7	BX-8	BX-9	BX-10	BY-1	BY-2	BY-3	BY-4	BY-5	BY-6	BY-7	BY-8	BY-9	BY-10	BZ-1	BZ-2	BZ-3	BZ-4	BZ-5	BZ-6	BZ-7	BZ-8	BZ-9	BZ-10	CA-1	CA-2	CA-3	CA-4	CA-5	CA-6	CA-7	CA-8	CA-9	CA-10	CB-1	CB-2	CB-3	CB-4	CB-5	CB-6	CB-7	CB-8	CB-9	CB-10	CC-1	CC-2	CC-3	CC-4	CC-5	CC-6	CC-7	CC-8	CC-9	CC-10	CD-1	CD-2	CD-3	CD-4	CD-5	CD-6	CD-7	CD-8	CD-9	CD-10	CE-1	CE-2	CE-3	CE-4	CE-5	CE-6	CE-7	CE-8	CE-9	CE-10	CF-1	CF-2	CF-3	CF-4	CF-5	CF-6	CF-7	CF-8	CF-9	CF-10	CG-1	CG-2	CG-3	CG-4	CG-5	CG-6	CG-7	CG-8	CG-9	CG-10	CH-1	CH-2	CH-3	CH-4	CH-5	CH-6	CH-7	CH-8	CH-9	CH-10	CI-1	CI-2	CI-3	CI-4	CI-5	CI-6	CI-7	CI-8	CI-9	CI-10	CJ-1	CJ-2	CJ-3	CJ-4	CJ-5	CJ-6	CJ-7	CJ-8	CJ-9	CJ-10	CK-1	CK-2	CK-3	CK-4	CK-5	CK-6	CK-7	CK-8	CK-9	CK-10	CL-1	CL-2	CL-3	CL-4	CL-5	CL-6	CL-7	CL-8	CL-9	CL-10	CM-1	CM-2	CM-3	CM-4	CM-5	CM-6	CM-7	CM-8	CM-9	CM-10	CN-1	CN-2	CN-3	CN-4	CN-5	CN-6	CN-7	CN-8	CN-9	CN-10	CO-1	CO-2	CO-3	CO-4	CO-5	CO-6	CO-7	CO-8	CO-9	CO-10	CP-1	CP-2	CP-3	CP-4	CP-5	CP-6	CP-7	CP-8	CP-9	CP-10	CQ-1	CQ-2	CQ-3	CQ-4	CQ-5	CQ-6	CQ-7	CQ-8	CQ-9	CQ-10	CR-1	CR-2	CR-3	CR-4	CR-5	CR-6	CR-7	CR-8	CR-9	CR-10	CS-1	CS-2	CS-3	CS-4	CS-5	CS-6	CS-7	CS-8	CS-9	CS-10	CT-1	CT-2	CT-3	CT-4	CT-5	CT-6	CT-7	CT-8	CT-9	CT-10	CU-1	CU-2	CU-3	CU-4	CU-5	CU-6	CU-7	CU-8	CU-9	CU-10	CV-1	CV-2	CV-3	CV-4	CV-5	CV-6	CV-7	CV-8	CV-9	CV-10	CW-1	CW-2	CW-3	CW-4	CW-5	CW-6	CW-7	CW-8	CW-9	CW-10	CX-1	CX-2	CX-3	CX-4	CX-5	CX-6	CX-7	CX-8	CX-9	CX-10	CY-1	CY-2	CY-3	CY-4	CY-5	CY-6	CY-7	CY-8	CY-9	CY-10	CZ-1	CZ-2	CZ-3	CZ-4	CZ-5	CZ-6	CZ-7	CZ-8	CZ-9	CZ-10	DA-1	DA-2	DA-3	DA-4	DA-5	DA-6	DA-7	DA-8	DA-9	DA-10	DB-1	DB-2	DB-3	DB-4	DB-5	DB-6	DB-7	DB-8	DB-9	DB-10	DC-1	DC-2	DC-3	DC-4	DC-5	DC-6	DC-7	DC-8	DC-9	DC-10	DD-1	DD-2	DD-3	DD-4	DD-5	DD-6	DD-7	DD-8	DD-9	DD-10	DE-1	DE-2	DE-3	DE-4	DE-5	DE-6	DE-7	DE-8	DE-9	DE-10	DF-1	DF-2	DF-3	DF-4	DF-5	DF-6	DF-7	DF-8	DF-9	DF-10	DG-1	DG-2	DG-3	DG-4	DG-5	DG-6	DG-7	DG-8	DG-9	DG-10	DH-1	DH-2	DH-3	DH-4	DH-5	DH-6	DH-7	DH-8	DH-9	DH-10	DI-1	DI-2	DI-3	DI-4	DI-5	DI-6	DI-7	DI-8	DI-9	DI-10	DJ-1	DJ-2	DJ-3	DJ-4	DJ-5	DJ-6	DJ-7	DJ-8	DJ-9	DJ-10	DK-1	DK-2	DK-3	DK-4	DK-5	DK-6	DK-7	DK-8	DK-9	DK-10	DL-1	DL-2	DL-3	DL-4	DL-5	DL-6	DL-7	DL-8	DL-9	DL-10	DM-1	DM-2	DM-3	DM-4	DM-5	DM-6	DM-7	DM-8	DM-9	DM-10	DN-1	DN-2	DN-3	DN-4	DN-5	DN-6	DN-7	DN-8	DN-9	DN-10	DO-1	DO-2	DO-3	DO-4	DO-5	DO-6	DO-7	DO-8	DO-9	DO-10	DP-1	DP-2	DP-3	DP-4	DP-5	DP-6	DP-7	DP-8	DP-9	DP-10	DQ-1	DQ-2	DQ-3	DQ-4	DQ-5	DQ-6	DQ-7	DQ-8	DQ-9	DQ-10	DR-1	DR-2	DR-3	DR-4	DR-5	DR-6	DR-7	DR-8	DR-9	DR-10	DS-1	DS-2	DS-3	DS-4	DS-5	DS-6	DS-7	DS-8	DS-9	DS-10	DT-1	DT-2	DT-3	DT-4	DT-5	DT-6	DT-7	DT-8	DT-9	DT-10	DU-1	DU-2	DU-3	DU-4	DU-5	DU-6	DU-7	DU-8	DU-9	DU-10	DV-1	DV-2	DV-3	DV-4	DV-5	DV-6	DV-7	DV-8	DV-9	DV-10	DW-1	DW-2	DW-3	DW-4	DW-5	DW-6	DW-7	DW-8	DW-9	DW-10	DX-1	DX-2	DX-3	DX-4	DX-5	DX-6	DX-7	DX-8	DX-9	DX-10	DY-1	DY-2	DY-3	DY-4	DY-5	DY-6	DY-7	DY-8	DY-9	DY-10	DZ-1	DZ-2	DZ-3	DZ-4	DZ-5	DZ-6	DZ-7	DZ-8	DZ-9	DZ-10	EA-1	EA-2	EA-3	EA-4	EA-5	EA-6	EA-7	EA-8	EA-9	EA-10	EB-1	EB-2	EB-3	EB-4	EB-5	EB-6	EB-7	EB-8	EB-9	EB-10	EC-1	EC-2	EC-3	EC-4	EC-5	EC-6	EC-7	EC-8	EC-9	EC-10	ED-1	ED-2	ED-3	ED-4	ED-5	ED-6	ED-7	ED-8	ED-9	ED-10	EE-1	EE-2	EE-3	EE-4	EE-5	EE-6	EE-7	EE-8	EE-9	EE-10	EF-1	EF-2	EF-3	EF-4	EF-5	EF-6	EF-7	EF-8	EF-9	EF-10	EG-1	EG-2	EG-3	EG-4	EG-5	EG-6	EG-7	EG-8	EG-9	EG-10	EH-1	EH-2	EH-3	EH-4	EH-5	EH-6	EH-7	EH-8	EH-9	EH-10	EI-1	EI-2	EI-3	EI-4	EI-5	EI-6	EI-7	EI-8	EI-9	EI-10	EJ-1	EJ-2	EJ-3	EJ-4	EJ-5	EJ-6	EJ-7	EJ-8	EJ-9	EJ-10	EK-1	EK-2	EK-3	EK-4	EK-5	EK-6	EK-7	EK-8	EK-9	EK-10	EL-1	EL-2	EL-3	EL-4	EL-5	EL-6	EL-7	EL-8	EL-9	EL-10	EM-1	EM-2	EM-3	EM-4	EM-5	EM-6	EM-7	EM-8	EM-9	EM-10	EN-1	EN-2	EN-3	EN-4	EN-5	EN-6	EN-7	EN-8	EN-9	EN-10	EO-1	EO-2	EO-3	EO-4	EO-5	EO-6	EO-7	EO-8	EO-9	EO-10	EP-1	EP-2	EP-3	EP-4	EP-5	EP-6	EP-7	EP-8	EP-9	EP-10	EQ-1	EQ-2	EQ-3	EQ-4	EQ-5	EQ-6	EQ-7	EQ-8	EQ-9	EQ-10	ER-1	ER-2	ER-3	ER-4	ER-5	ER-6	ER-7	ER-8	ER-9	ER-10	ES-1	ES-2	ES-3	ES-4	ES-5	ES-6	ES-7	ES-8	ES-9	ES-10	ET-1	ET-2	ET-3	ET-4	ET-5	ET-6	ET-7	ET-8	ET-9	ET-10	EU-1	EU-2	EU-3	EU-4	EU-5</

平成24年度

平成24年度				9月																
	内 容 方 法 形 式			4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
				火	水	木	金	土	日	1	2	3	4	5	6	7	8			
				第6期																
初診科	予診（患者配当）	4名1組 3日	配 属																	
	初診実施	2名1組 2日	アポイント																	
放射線科	見 学 ・ 実 技	4名1組 2日連続	配 属	K-9 K-10	L-1 L-2 L-3 L-4	L-1 L-2 L-3 L-4					L-5 L-6 L-7 L-8	L-5 L-6 L-7 L-8	L-9 L-10 L-11 L-12	L-9 L-10 L-11 L-12						
補綴科	実地・見学・介補等		配 属	ABGH																
保存科	実地・見学・介補等		配 属	CDIJ																
歯周科	実地・見学・介補等		配 属	CDIJ																
口腔外科	実地・見学・介補等 病棟見学会		配 属	EFKL																
小児歯科	見 学 ・ 介 補	木・金・土 2～4名配属	配 属																	
	見 学 ・ 介 補		アポイント																	
矯正科	症例分析・ 治療計画の立案	4名1組 終日2日	配 属				A-1 A-2 A-3 A-4				A-5 A-6 A-7 A-8	A-9 A-10	B-1 B-2 B-3 B-4	B-5 B-6 B-7 B-8	B-9 B-10					
			アポイント																	
再生歯科 顎関節咬合診療科 スポーツ健康歯科	見 学 ・ 介 補		アポイント	ABGH																
口腔インプラント科	見 学		配属 アポイント	EFKL																
			実習																	
麻酔・全身管理科	見 学	5～6名1組 1日 (火・木曜日)	アポイント	CDIJ																
特殊歯科	見学・介補・口頭試問	2名1組 1日 (月～金曜日)	配 属	L-3 L-4	L-9 L-10	A-3 A-4	A-9 A-10				B-3 B-4	B-9 B-10	C-3 C-4	C-9 C-10						
臨床検査科	見学・介補	2名1組 1日 (月～金曜日)	配 属	L-5 L-6	L-11 L-12	A-5 A-6					B-5 B-6		C-5 C-6							
医 科	見 学	3名1組 1日 (月～金曜日)	アポイント 希望選択																	
技工室		2名1組 (月～金曜日)		L-1 L-2	L-7 L-8	A-1 A-2	A-7 A-8				B-1 B-2	B-7 B-8	C-1 C-2	C-7 C-8						
出欠席 午前 歯科医学総合講義 5 (月～土 8:40 401) 午後 配属先 17:00 (土:13:00)	保存・補綴科 (4班)			GH/IJ																
	3F再生歯科/スポーツ健康歯科 (2班)			KL																
	口腔外科 1班			A																
	歯周科 1班			B																
	初診科 1班			C																
	小児歯科 1班			D																
	放射線科 1/2班			E1～5																
	特殊歯科 1/2班			E6～10																
	矯正歯科 1班			F																

臨床実習1

9月												
18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
火	水	木	金	土	土	月	火	水	木	金	土	土
第6期												
ABGH												
CDIJ												
CDIJ												
EFKL												
ABGH												
EFKL												
CDIJ												
D-3	D-9	E-3	E-9									
D-4	D-10	E-4	E-10									
D-5		E-5										
D-6		E-6										
D-1	D-7	E-1	E-7									
D-2	D-8	E-2	E-8									
GH/IJ												
KL												
A												
B												
C												
D												
E1~5												
E6~10												
F												

平成24年度 臨床実習 1・2 (5月～3月)

診療科名：初診科

担当教員名：伊藤孝訓，多田充裕，内田貴之，青木伸一郎，遠藤弘康，岡本康裕

実施場所
初診科診療室
会議室

① ユニット課題

- 1) 医療面接
- 2) 医療情報収集
- 3) 初期計画の立案

② 到達目標 (GIO)

問題志向型医療(POS)に則って主要疾患や主要症状に対するプライマリー・ケアが実践できるようになるために、診断情報の収集に必要な診察手技およびコミュニケーション技法を習得するとともに、診断情報を収集・分析・評価し、問題解決するための計画の立案、そしてプライマリー・ケアへという診断プロセスを問題指向型診療録 (POMR) の作成を通して習得する。

③ 行動目標 (SBOs)

- 1) 初診患者において面接技法に則った医療面接を行える。
- 2) 正確で十分な病歴（患者の社会的・経済的・心理的背景を含む）を聴取できる。
- 3) 得られた病歴を整理し、プロトコールに記載できる。
- 4) 歯科・医科的既往歴を聴取し、プロトコールに記載できる。
- 5) 初診患者において得られた所見から異常所見を抽出し、それを手がかりに仮説演繹的な診断指向を行うことができる。
- 6) 基本的な診断を施行し、得られた所見を整理してプロトコールに記載できる。
- 7) エックス線写真から、典型的な読像所見を抽出できる。
- 8) 口腔における主要疾患について診断できる。
- 9) 口腔における主要疾患について、基本的な治療方針（初期計画）を立案できる。
- 10) 患者の現在の病態について、これまでの経過を踏まえて担当医に報告できる。

④ 学習方法 (LS)

- 1) 初診実習（患者実習）
- 2) 予診自習（患者実習）
- 3) C.D.C（症例示説）

⑤ 評価方法 (EV)

評価シートおよび実習時の行動観察により総合的に評価する。

⑥ 備 考（その他留意事項等）

- 1) 初診患者は応急処置を要することがあるので、適切な対応とやめる患者の助けになりたいという真摯な気持ちで実習を行うこと。
- 2) 実習中は患者の対応に配慮し、私語は慎むこと。
- 3) 臨床実習にふさわしい態度・身なり・服装で臨むこと。
- 4) 集合時間を厳守すること。
- 5) 不明な点は、学生同士で解決せず教員に確認すること。

平成24年度 臨床実習1（5月～9月）

診療科名：臨床検査科
担当教員名：福本雅彦・深津晶・続橋治・布施恵・市村真奈・田中征宏・小西里美
実施場所 校舎棟2階歯科臨床検査医学講座医局に集合する。その後担当医と病院棟へ移動する。
① ユニット課題 全身疾患を有する患者の歯科診療時に必要な検査項目を理解し、それらの検査を実施し、その検査結果を分析する。
② 到達目標（GIO） ポリクリで習得した基礎知識をもとに、臨床の現場で患者によりよい歯科診療を実践するために必要な臨床検査の知識・技能・態度を習得できる。
③ 行動目標（SB0s） 1. 歯科臨床における臨床検査の目的・概要を説明できる。 2. 外来で行われている検査方法を理解できる。 3. 臨床検査データの基本的分析が出来る。
④ 学習方法（LS） 1. 実習方法 試験、見学・介補、口頭試問、レポート 2. 実習内容 1) 試験 歯科診療に必要な臨床検査の目的・概要・基準値等について。 2) 見学・介補 診療に支障がない場合に与える。 3) 口頭試問 実習中に担当医が出題する。実習を行うための知識だけでなく、検査項目、検査理由、基準値等について質問する。 4) レポート 各自に検査データの分析レポートを出題する。1症例を必須とする。
⑤ 評価方法（EV） 実習態度、試験、口頭試問、分析レポートの結果をふまえ、総合的に評価する。
⑥ 備 考（その他留意事項等） 1. 配属該当者は、臨床実習1の評価表、4年次で使用したノート・プリントおよび筆記用具を持参すること。 2. 分析レポートは2週間以内に担当医に提出する。

平成24年度 臨床実習1 (5月～9月)

診療科名：放射線科

担当教員名：金田 隆，池島 厚，小椋一朗，森進太郎

実施場所：放射線科診療室

① ユニット課題

- 1) 口内法エックス線検査を行う。
- 2) パノラマエックス線検査を行う。
- 3) デジタルエックス線画像システムを操作する。
- 4) 頭部単純エックス線検査を見学する。
- 5) CT, MRIおよび超音波検査を見学する。
- 6) 口腔・顎顔面領域の画像診断を行う。

② 到達目標 (GIO)

将来、歯科医師として顎顔面領域のエックス線撮影および画像診断ができるようになるために、各種画像検査法、口腔・顎顔面領域の正常像および病態像を修得する。

③ 行動目標 (SB0s)

- 1) 口内法エックス線検査ができる。
- 2) パノラマエックス線検査ができる。
- 3) デジタルエックス線画像システムの操作ができる。
- 4) 頭部単純エックス線検査が説明できる。
- 5) CT, MRIおよび超音波検査が説明できる。
- 6) 口腔・顎顔面領域の画像診断ができる。

④ 学習方法 (LS)

1. 放射線科配属 (2日間)
 - 1) 放射線診療業務：当日の担当医の指導のもと、通常放射線診療に参加し、多くのエックス線写真を読影して、正常像および病態像を修得する。
 - 2) 画像検査見学：顎顔面領域疾患に必要な頭部単純エックス線検査、CT, MRI, 超音波検査等を見学する。担当医により画像検査法や画像解剖等の口頭試問を受ける。
 - 3) 撮影実習：相互実習およびマネキンを用いて、口内法エックス線撮影および画像処理を行い、担当医により評価を受ける。
2. 他科配属及び配当患者の撮影実習
 - 1) 配当患者の撮影は担当学生が必須とする。
 - 2) 他科配属中に撮影依頼があった場合、積極的に撮影実習を行うこと。
(撮影後の読影は2週間以内に必ず行うこと)

⑤ 評価方法 (EV)

- 1) 放射線科配属：口頭試問、実習態度にて行う。
- 2) 他科配属及び配当患者の撮影実習：エックス線撮影および読影所見にて評価する。
- 3) 実技(80%)および実習態度(20%)によって評価点とする。

⑥ 備考 (その他留意事項等)

- 1) 参考図書
 - (1) 歯科放射線学実習書 (日本大学松戸歯学部放射線学講座編)
 - (2) Q&Aで学ぶ歯科放射線学：SB0s講義 (学建書院)
 - (3) 歯科放射線診断 teaching file 第2版 (砂書房)
 - (4) 画像でみる歯科放射線(CDR) (わかば出版)
- 2) 実習上の諸注意
 - (1) 診療室では通常の診療が行われているため、私語は慎むこと。
 - (2) 機器の取扱いには十分注意すること。

平成24年度 臨床実習1 (5月～9月)

診療科名：保存科(保存修復)
担当教員名：池見 宅司、平山 聡司、鈴木 英明、神谷 直孝、岡田 珠美、森 俊幸、 岩井 啓寿、齊藤 千春、壹岐 宏二、関根 哲子
実施場所 病院棟 2 階 保存科診療室、管理棟 3 階 臨床実習室 3
① ユニット課題 保存修復治療における診療介助、見学、口頭試問、自験の実施、およびシミュレーション実技試験
② 到達目標 (GIO) 保存修復治療の診療介助と処置が行えるようになるために、保存修復治療の臨床的な知識、技能および態度を身につける。
③ 行動目標 (SBOs) 1) 処置内容に沿った適切な術前・術後の説明ができる。 2) 硬組織疾患の検査ができる。 3) MIを考慮した齲蝕処置ができる。 4) コンポジットレジン修復の術式と使用器具について説明できる。 5) コンポジットレジン修復の仕上げ研磨ができる。 6) 修復前処置ができる。 7) メタルインレー修復の窩洞形成、印象を行うことができる。 8) 単純窩洞のコンポジットレジン修復ができる。
④ 学習方法 (LS) 1) 修復処置の介助・見学を臨床実習 1・2 を通して80回以上行う。 2) 見学症例に関連する口頭試問を臨床実習 1・2 を通して5回行う。 3) 自験は臨床実習 1・2 を通して、術前・術後の説明 1 回以上、硬組織疾患の検査 1 回以上、修復前処置 1 回以上、コンポジットレジンの研磨 1 回以上、MIを考慮した齲蝕処置 1 回以上、単純窩洞のコンポジットレジン修復を 1 回以上行う。 4) メタルインレー修復窩洞形成と連合印象のシミュレーション実技試験を 1 回行う。 5) 臨床実習 1 期間中に保存科日直業務を 3 回行う。
⑤ 評価方法 (EV) 1) シミュレーション実技試験の評価：100% 2) 臨床実習態度 以上に対する総合的評価を臨床実習 1 の評価とする。
⑥ 備 考 (その他留意事項等) 1) 検印表は毎回必ず持参し、見学終了時に必要項目を記載し検印を受けること。 2) 日直業務は担当医の指示に従い、主として急患来院患者に対する診療介助を行う。 3) 見学者数は基本的に介助者 1 名、見学者 1 名の計 2 名とする。ただし、症例数が少ないものは例外として計 4 名まで見学可とする。 4) シミュレーション実技試験の評価が 60% 未満の者に対しては別途レポートを課す。 5) シミュレーション実技試験の日程は後日連絡する。 6) 口頭試問成績不良者と口頭試問を期限までに受けなかった者には別途レポートを課す。

■修復症例の見学と口頭試問の実施について

- 1) 修復症例の見学は、臨床実習 1・2 を通して 80 回以上となることを到達目標とする。見学者数は、介助者 1 名、見学者 1 名の計 2 名とする。ただし、症例数が少ない間接修復法（メタルインレー・セラミックインレー）やホワイトニングなどは例外として計 4 名まで見学可とする。
- 2) 見学終了時に、日付、カルテ番号、部位・処置内容、介助・見学の区別、および見学症例に関連する課題番号を別紙「臨床実習 1・2 保存修復学 SBOs 一覧」から選んで検印表に記入し、担当医から検印を受けること。
- 3) 口頭試問は見学症例の関連課題に対して行い、臨床実習 1・2 を通して全 5 回実施する。
- 4) 見学 16 症例毎に、保存修復学講座の教育医員とアポイントをとり口頭試問を 1 回受けること。口頭試問は 5 回それぞれに実施期限（検印表に記載）が決まっており、期限が過ぎた場合は口頭試問が受けられなくなるので注意すること。口頭試問の成績不良者と、期限までに受けられなかった者には別途レポートを課す。
- 5) 5 回の口頭試問はすべて異なる医員と行うこと。重複は認めない。また、特定の医員への集中を防止するために口頭試問アポイント台帳で管理する。
- 6) 別紙「臨床実習 1・2 保存修復学 SBOs 一覧」は、国家試験合格に向けて、知っておかなければならない学習到達目標を列挙したものである。
 - ①臨床実習 1 開始時に「保存修復 SBOs ノート」を作成し、この SBOs をコピーして切り抜き、ノートの最初のページに貼り付けておくこと。
 - ②担当患者など治療内容が事前にわかる場合、関連する SBOs を予習しておくこと。
 - ③SBOs に関する予習・復習事項など自己学習した内容や、口頭試問前後に担当医から出された課題やレポートはすべて、この「保存修復 SBOs ノート」に記載すること。
 - ④右側のチェックボックスは、臨床で遭遇した症例のチェックや、自己の学習進捗状況の目安などに使用すること。
 - ⑤臨床で遭遇し難い SBOs に関しては、出来るだけ自己学習を行い、担当医とディスカッションして知識の深化を図ることが望ましい。

■修復処置の自験について

- 1) 自験は基本的に担当患者または日直配属時に急患患者で実施すること。いつでも自験に望めるように事前学習しておくこと。
- 2) 自験は臨床実習 1・2 を通して、術前・術後の説明 1 回以上、硬組織疾患の検査 1 回以上、修復前処置 1 回以上、コンポジットレジン研磨 1 回以上、MI を考慮した齶蝕処置 1 回以上、単純窩洞のコンポジットレジン修復を 1 回以上行うこと。
- 3) 自験は 3 段階評価で行う。最低評価の場合は再度同じ項目の自験を行うこと。
- 4) 自験のレベルは容易なものから難易度の高いものへ移行することが望ましい。臨床実習 1・2 を通して最終的には単純窩洞のコンポジットレジン修復を行えるようになることが到達目標となる。

平成24年度 臨床実習1 (5月～9月)

診療科名：保存科（歯内療法）

担当教員名：松島 潔、辻本恭久、川島 正、小塚昌宏、三浦 浩、岡部 達、
神尾直人、神尾素代、室町幸一郎、和田陽子、諸橋利朗

実施場所 病院診療室

① ユニット課題 歯内療法処置を実施する。

② 到達目標（GIO） 歯内療法処置を実施するために、臨床に必要な知識、技能および態度を修得する。

③ 行動目標（SBOs）

- (1) 問診および各種検査ができる。
- (2) 主訴および必要な検査から処置方針の決定ができる。
- (3) 歯内療法処置に必要な器材、薬剤が準備できる。
- (4) 適切な診療介補ができる。
- (5) ラバーダム防湿法が実施できる。
- (6) 各種歯科用セメントが使用できる。
- (7) 仮封ができる。

④ 学習方法（LS）

- 1) 実施方法 診療介補とそれに関連する実技実習
- 2) 実施内容
 - ① 歯内処置の見学・介補を30回以上行う。
 - ② ①が達成できたら評価表の見学・介補30個終了印をもらい、評価表の実施項目を実施する。
 - ③ 臨床見学については2名までとする。（介補者は除く）

⑤ 評価方法（EV） ①検印表の見学・介補ならびに評価表の検印数 ②臨床実習態度

⑥ 備 考（その他留意事項等）

平成24年度 臨床実習1 (5月～9月)

診療科名：歯周科(予防管理科)
担当教員名：小方頼昌，吉野祥一，中山洋平，目澤 優，鈴木桃子，大橋頭二郎， 小山朱美，佐々木庸子，岡野千春，武井美佑紀，廣松勇樹，豊嶋 泉
実施場所：付属病院歯周科診療室
① ユニット課題：歯周治療における介補・実技の実施および実技試験
② 到達目標 (GIO)：実際の臨床を通じて，歯周治療を実施するための技能，態度を習得し，総合的に歯周治療を理解する。
③ 行動目標 (SBOs) 1)問診ができる。2)歯垢染色ができる。3)プラークコントロールレコードの記入ができる。4)ブラッシング指導ができる。5)スケーリング・ルートプレーニングが実施できる。6)歯週外科治療の種類の説明ができる。7)歯週外科治療で使用する器具の名称と使用法が説明できる。8)サポータティブペリオドンタルセラピー(SPT)で行う項目について説明できる。
④ 学習方法 (LS) 1. 実習方法：診療見学・診療介補および実技，歯周外科手術の見学，症例検討会(CPC)，口頭試問，日直。 2. 実習内容： 1)必修症例と症例数 ＜見学，介補および実技＞ 実習方法と実習項目の表を参照。症例数については60症例とする(これ以外に，歯周外科治療を3症例以上見学および介補を行う。)各項目の必須症例の見学および介補を行い，臨床実習評価として担当医に評価をもらう。 ＜症例検討会：CPC＞ 配属期間に関わらず，班ごとに症例検討会に参加する。CPCは，原則として毎週金曜日，午後6時より第4実習準備室にて行うので，班ごとに決められた日時(別紙配布)に参加すること。正当な理由で参加できない場合には，事前にその旨を申し出て予備日に参加することを認める。 ＜レポート＞ CPCに参加した学生は担当医からレポート課題を受け，レポートを提出する。担当医は院内番号に従って定める(下記参照)。レポート提出に際して口頭試問を受ける。レポート，口頭試問の結果が適切な場合は検印を受ける。 1；大橋 2；小山 3；佐々木 4；鈴木 5；武井 6；目澤 7；吉野 8；岡野 9；中山 10以降；廣松，豊嶋 ＜歯周外科治療の見学＞ 歯周外科治療の見学者は原則として，1症例について5名までとする(担当学生は含まない)。ただし，担当学生がいない場合に限り介補担当者として1名の追加を認める。歯周外科治療の見学を希望する学生はオペ台帳に学生番号，氏名を記入し担当医の検印をただちに受けること(検印を受けてない学生はオペの見学を無効とする)。また，正当な理由で見学できなくなった場合はその旨を担当医に連絡し検印を受け，2重線(修正液不可)で氏名が確認できるように訂正すること。歯周外科治療の見学を行った学生は，その症例内容に応じたレポートを作成し，レポート提出に際して口頭試問を受ける。レポート，口頭試問の結果が適切な場合は検印を受ける。 3. 選択症例と症例数 ＜見学，介補および実技＞ 歯周科における実習は原則的に配当患者に対する介補および実技をもって評価する。配当患者については各班ごとに担当医を定めるので下記の担当医から各自2名以上の配当を受けること。 担当医一覧：A；小方 B；大橋 C；鈴木 D；小方 E；小方 F；岡野 G；中山 H；佐々木 I；武井 J；小山 K；目澤 L；吉野

⑤ 評価方法

原則として診療室における指導責任者、担当医による指導に従い、見学・介補および実技を行うが、症例内容については必要に応じて随時、口頭試問、レポートを課す。歯周科における評価は、配属期間中に限らず評価する。チーム診療の配当、歯周科配当に対する介補・実習は配属期間中に限らず対象とする。ただし、見学については配属期間中に限って認めるが、歯周外科治療の見学および介補は、配属期間に限らず認める。

<評価基準>

1) 目標症例・選択症例(65症例の達成率、外科治療がある場合、準備、見学、介補など、それ以外に歯周外科治療を4症例以上見学および介補を行う)

2) 歯周科の日直としての業務に対する評価

3) CPCの評価

4) 口頭試問、レポートの評価

5) 介補および実技(歯周精密検査、ブラッシング指導、スケーリング・ルートプレーニング、PMTCの手技の評価)

以上に対する総合的評価をセメスターの評価とする。

⑥ 備 考 (その他留意事項等) 実習中の諸注意

1) 症例の評価は、見学、介補および実技後にその内容を理解しているかをチェックしてから検印を行う。

2) 期間中は、日直または指導責任者、担当医の指示に従う。また、班ごとに指導責任者の指示に従い、担当医と密接に連絡を取りながら、実習が円滑に行えるように計画的に実習を遂行すること。実習実施日の前日までに必ず担当医とアポイントを取り、アポイント帳に検印を受けること。また、当日の準備などについても、担当医の指示を仰ぐこと。担当医、指導責任者の許可なく、診療室に不在の学生は、実習を放棄したものとみなす。万が一欠席する場合は、担当医の許可を得て適切な指示を仰ぐこと。

3) 歯周科の評価表は、毎日必ず持参し、評価表の記入については、見学、介補および実技表について、症例ごとに日付、該当する細項目名および番号を記入し検印を受けること。(実技表に検印を受ける場合、見学、介補表には同一診療の検印を受けられないので注意すること。)

4) 歯周科配属期間中は、各3～5名の日直を設ける(別紙参照のこと)。歯周科日直の義務は以下の事とし、やむを得ない理由で日直が行えない場合は事前に必ず代理を立て、その旨を日直担当医に報告すること。

(1) 急患に対する準備・介補

(2) 教授の診療補助などの歯周科における診療が円滑に進むように担当医に従う。

平成24年度 臨床実習1・2 (5月～3月)

診療科名：補綴科（総義歯）

担当教員名：

河相安彦，成田紀之，飯島守雄，伊藤誠康，大久保昌和，木本統，桑原克久，林幸男，中田浩史，石井智浩，神谷和伸，矢崎貴啓，池口伸之，井上正安，菅野京子，小出恭代，佐藤貴信，島由樹，末光弘宜，宗邦雄，中村耕実，義隆淑子，會田雅啓，小林平，大村祐史，若見昌信，田中孝明，後藤治彦，加藤仁美，金子珠美，楠瀬有紗，齊藤美佳，田部井直子

実施場所

附属病院補綴科診療室、院内技工室、職員技工室、医員用技工室

① ユニット課題

配当患者または見学に就いた患者における総義歯製作の治療過程において，見学・介補および実技を行い，総義歯製作の過程を理解し，治療法を習得する。

② 到達目標（GIO）

総義歯の診査・診断，術式および予後について見学・介補と実技を通じて理解し，その意義と基本的臨床能力を身につける。

③ 行動目標（SB0s）

- 1）旧義歯の診査・診断項目を説明し実施できる。
- 2）予備印象を採得することができる。
- 3）模型上の解剖学的ランドマークについて説明できる。
- 4）床外形を推定することができる。
- 5）筋圧形成の目的と方法を説明し部分的に行える。
- 6）最終印象の目的と方法を説明できる。
- 7）ボクシング・作業模型の要件を説明し作製できる。
- 8）適切な咬合床の形態を説明し作製できる。
- 9）アーラインと床後縁との関連を理解し設定できる。
- 10）顎の対向関係位の設定の術式と背景を説明できる。
- 11）フェイスボウトランスファーの意義と術式を説明できる。
- 12）ゴシックアーチの意義と術式を説明し解釈を行える。
- 13）人工歯の選択基準を理解し，人工歯選択を行える。
- 14）両側性平衡咬合と片側性平衡咬合を説明できる。
- 15）仮床義歯試適時における診査項目を説明できる。
- 16）完成義歯装着時の診査項目を説明できる。
- 17）総義歯装着時の患者指導を行うことができる。
- 18）総義歯装着後の調整を行うことができる。
- 19）総義歯治療全体の過程と術式を説明できる。

④ 学習方法（LS）

配当症例患者における見学・介補・実技および見学・介補に就いた患者における見学・介補・実技。配当患者への義歯装着後3回目の調整を目途に班単位でカンファランスを行う。

⑤ 評価方法（EV）

配当症例に関しては出欠および見学・介補項目の検印、レポート、カンファランスの評価による。その他の見学・介補については検印表への検印による。実技については実技評価表による採点を行う。

⑥ 備 考（その他留意事項等）

1. 臨床実習1および2において、担当症例患者を担当班に担当する。担当班員で可能な限り総義歯製作の治療過程において、見学・介補および実技を行い、総義歯製作の過程を理解し、治療法を習得する。
2. 事前学習の上で見学・介補を行うこと。見学・介補における検印は教育医員または教育医員の併印で可。実技は教育医員の検印のみ有効。実技においては途中で医員への交代を促す場合がある。
3. すべての評価項目は臨床実習1および2を通じて評価する。

平成24年度 臨床実習1 (5月～9月)

診療科名：補綴科（クラウンブリッジ）

担当教員名：會田雅啓，小林 平，大村祐史，若見昌信，田中孝明，後藤治彦，
加藤仁美，金子珠美，齊藤美佳，田部井直子，河相安彦，成田紀之，
飯島守雄，伊藤誠康，大久保昌和，木本 統，桑原克久，林 幸男，
中田浩史，石井智浩，神谷和伸，矢崎貴啓，池口信之，井上正安，
菅野京子，小出恭代，佐藤貴信，島 由樹，末光弘宣，宗 邦雄，
中村耕実，義隆淑子

実施場所： 病院診療室，院内技工室，職員技工室，医員用技工室

① ユニット課題

配当患者または見学について患者におけるクラウンブリッジ製作の治療過程において，見学・介補および実技を行い，その過程を理解し，治療法を習得する。

② 到達目標（GIO）

クラウン・ブリッジの診査・診断，治療計画，術式および予後について介補，見学，実技，技工を通じ理解し，その基本的臨床能力を身につける。

③ 行動目標（SB0s）

- 1) クラウンブリッジの診査項目を理解し行うことができる。
- 2) 予備印象を採得することができる。
- 3) クラウンブリッジの設計を含めた治療計画を立案することができる。
- 4) 支台築造の目的と方法について述べることができる。
- 5) 歯肉圧排の目的を理解し述べることができる。
- 6) クラウンおよびブリッジの支台歯形成について述べることができる。
- 7) 最終印象の方法を述べることができる。
- 8) プロビジョナルレストレーションの作製および仮着の要件について述べることができる。
- 9) 咬合支持に応じた咬合採得を理解し行うことができる。
- 10) フェイスボウトランスファーの意義と操作方法を理解し述べることができる。
- 11) シェードテイキングの要点について述べることができる。
- 12) 咬合器の目的と取り扱いについて述べることができる。
- 13) クラウンブリッジ試適時における診査項目を理解することができる。
- 14) クラウンブリッジの仮着を理解し行うことができる。
- 15) クラウンブリッジの装着について述べることができる。
- 16) クラウンブリッジの術後管理について指導ができる。
- 17) 装着後のトラブルおよび変化の原因と対処法について述べることができる。

④ 学習方法（LS）

担当患者や日直もしくは見学患者の診療での介補・見学を主体として担当教員との2～3人でのスモールグループによる実習を行う。

⑤ 評価方法（EV）

見学・介補・実技について検印数および評価点数により採点を行い，実習態度等の内容も含め総合的に判断して最終評価とする。①表（配当患者）および実施の点数は3点，②表（見学症例）の点数は1点とする。①表（配当患者）は介補・見学を終了した時点でカルテ番号と日付を記載し，2週間以内に進行表に治療内容を記載し口頭試問を受け，担当医の検印を受けたものとする。期日を過ぎたものおよび記載事項が不備，口頭試問で理解が得られていない者は評価表②に検印を行う。実技を行ったケースに関しては口頭試問を行い，①もしくは②表と③表に検印を受ける。

⑥ 備 考（その他留意事項等）

事前学習の上で見学・介補を行い，不明な点は事後補うこと。見学・介補における検印は担当教員または併印で可。実技は担当教員の検印のみ有効。実技においては途中で医員への交代を促す場合がある。別途必要な評価表を配布する。

平成24年度 臨床実習1 (5月～9月)

診療科名：補綴科（局部床義歯）
担当教員名：會田雅啓・河相安彦・成田紀之・小林 平・飯島守雄・大村祐史・若見昌信・田中孝明・伊藤誠康・大久保昌和・木本 統・桑原克久・林 幸男・中田浩史・石井智浩・後藤治彦・神谷和伸・矢崎貴啓・池口伸之・井上正安・菅野京子・小出恭代・佐藤貴信・島 由樹・末光弘宣・宗 邦雄・中村耕実・義隆淑子・斉藤美佳・加藤仁美・田部井直子・金子珠美（順不同）
実施場所：附属病院補綴科診療室、院内技工室、職員技工室、医員用技工室
① ユニット課題：診療に必要な基本的な知識を習得する。相互実習により印象から模型付着までの技能を習得する。SGDによる症例検討を通して診査・診断・治療計画の立案までの能力を獲得する。配当患者または見学に就いた患者における局部床義歯製作の治療過程において、見学・介補および実技を行い、局部床義歯製作の過程を理解し、治療法を習得する。
② 到達目標（GIO）：患者個々に適した局部床義歯を作製する基本的臨床能力を身につけるために必要な診査・診断、術式および予後に関する知識、技能および態度を習得する。
③行動目標（SB0s） ① 補綴歯科治療に必要な器具・器材を適切に使用することができる。 ② 補綴歯科治療に必要な検査機器を適切に使用することができる。 ③ 可撤性義歯の製作過程を説明できる。 ④ 可撤性義歯の支持機構、把持機構および維持機構を説明できる。 ⑤ 可撤性義歯の構成要素を説明できる。 ⑥ 義歯の設計を適切にできる。 ⑦ 口腔内診察および検査結果に基づいて義歯の治療計画の立案が適切にできる。（予備印象と研究模型の製作を含む） ⑧ 治療計画に基づいて適切な前処置（マウスプレパレーション）を行なうことができる。 ⑨ 印象採得の種類と方法を説明できる。 ⑩ 筋圧形成を適切に実施できる。 ⑪ 印象採得を適切に行なうことができる。（個人トレーの製作を含む） ⑫ 可撤性義歯の咬合様式とその意義を説明できる。 ⑬ 咬合採得する下顎位と咬合採得法を説明できる。 ⑭ 咬合採得を適切に行なうことができる。 ⑮ 咬合器を適切に調整することができる。 ⑯ 人工歯を適切に選択することができる。 ⑰ 仮床義歯試適時の診査を適切に行なうことができる。 ⑱ 完成した義歯を患者に適切に装着することができる。 ⑲ 患者に対して義歯使用上の注意点について説明できる。 ⑳ 義歯装着後の調整を適切に行なうことができる。 ㉑ 義歯装着後の定期健診を実施することができる。 ㉒ 義歯装着後の修理、再適合を適切に行なうことができる。 ㉓ 患者の苦痛に配慮した診療介補および処置ができる。
④学習方法（LS） ③④⑤⑨⑫⑬ 臨床実習1期間中に自習 ⑥⑦ 臨床実習1期間中の補綴配属中にSGDを行う（学生セミナー室） ⑪⑭⑮ 臨床実習1期間中の補綴配属中に相互実習（臨床実習室） ①②⑥⑦⑧⑩⑪⑭⑯⑰⑱⑲⑳㉑, ㉒, ㉓ 臨床実習1・2期間中に見学・介補・実技

⑤ 評価方法 (EV)

WebClassによる試験。見学・介補については検印表への検印と口頭試問による評価を行う。実技については実技評価表による評価を行う。SGDについてはレポートにより評価する。

⑥ 備 考 (その他留意事項等) 見学・介補をした項目について、口頭試問を行う。不合格の場合は見学・介補欄のみの検印となる。
最低1度の見学の後に実技を行い、評価を受けること。SGDと相互実習についての詳細は別途通知する。

平成24年度 臨床実習1（5月～9月）

診療科名：口腔外科

担当教員名：秋元芳明、近藤壽郎、神野良一、西村均、田中茂男、池谷美和、伊藤耕、原正浩、武田祥人、藤本陽子、青沼陽菜、瀧口晋平、石上大輔、須藤亜紀子、久保友美、山口桜子、田島秀人、羽田紗綾、平川剛、横川真千代、保坂海輝、石原芳紀、松本健司

実施場所：診療室、手術室、病棟

① ユニット課題：

口腔外科領域における的確な処置（抜歯・難抜歯・埋伏歯抜歯・外来小手術）を行うために必要な基本的知識、技能、態度を習得する。

臨床実習1、2を通して実技症例（問診、口腔内消毒、抜糸、縫合、処方箋等）を所定回数実施する。

臨床実習1の配属期間中には、器具準備症例10例以上、抜歯の介補症例10例以上、外来小手術の介補・見学症例5例以上を行う。

埋伏歯抜歯介補症例より2例をレポート課題とし担当教員に提出する。

② 到達目標（GIO）：口腔外科領域における的確な処置（抜歯・難抜歯・埋伏歯抜歯・外来小手術）を行うために必要な基本的知識、技能、態度を習得する。

③ 行動目標（SB0s）：

①口腔外科外来診療の流れを理解し、患者に配慮した行動が出来る。

②口腔外科外来小手術で使用する器材の使用方法が説明できる。

③適切な手指消毒と滅菌グローブの装着ができる。

④適切な口腔内消毒が実施できる。

⑤各種局所麻酔法を理解し、浸潤麻酔を実施することができる。

⑥口腔外科領域における的確な処置に必要な器材を準備することができる。

⑦処置前・処置後に患者へ注意事項の説明ができる。

⑧処置前に患者のバイタル測定ができる。

⑨処置の介補ができる。

⑩埋伏歯抜歯の術式を説明できる。

⑪抜糸を実施できる。

⑫縫合を実施できる。

④ 学習方法（LS）：

②講義

①③～⑧について相互実習

⑪⑫について模型実習

①③④⑥～⑨について患者実習

⑩について自習で行う。

⑤ 評価方法（EV）：

②について平常試験

①③～⑧について観察記録

⑪⑫について観察記録

①③④⑥～⑨について観察記録

⑩についてレポートで評価する

⑥ 備考（その他留意事項等）：実技症例、準備症例の達成度、レポートの内容を総合的に評価する。抜歯介補症例のうち2症例は、レポートを担当教員に提出する。その他の症例症例用紙に関しては、評価の加点とする。詳細については、所定用紙にて確認のこと。

平成24年度 臨床実習1 (5月～9月)

診療科名：矯正科

担当教員名：葛西一貴、今村隆一、山口 大、小野修一、五関たけみ、榎本 豊、
斎藤勝彦、岡野美紀、根岸慎一、徳永理利、葛西理恵、浅野正貴

実施場所

- 1) 分析・治療方針の立案、混合歯列：第3・第3B会議室、学生セミナー室
- 2) 症例見学：矯正科診療室

①ユニット課題

- 1) 混合歯列の不正咬合について分析・治療方針の立案
- 2) 矯正治療の症例見学

②到達目標 (GIO) 基本的歯科矯正治療を実践できるようになるために必要な知識・
技能および態度を習得する。

③行動目標 (SBOs)

- 1) 模型分析が実施できる。
- 2) セファログラム分析が実施できる。
- 3) 模型・セファログラム分析から診断できる。
- 4) 診断から治療方法を立案できる。

④ 実施方法

A 分析・治療方針の立案

- 1) 模型分析：歯列長径・幅径および歯槽基底長径・幅径を計測しポリゴン図表に記載する。
- 2) セファログラム分析：トレースから必要な計測を行いポリゴン図表を完成する。
- 3) 模型・セファログラム分析の結果から診断・治療方針を立案する。
- 4) 治療に用いる矯正装置を選択し、作用機序および治療後の変化について討論する。

B 症例見学：指定された患者の矯正治療について見学・介補を行う。

⑤評価方法

- 1) 分析・治療方針の立案(第1症例80%)：評価シートにより評価を行う。
- 2) 症例見学(口頭試問20%)：臨床実習1期間中に、3回の見学および1回の介補を行い評価を行う。

⑥ 備 考 (その他留意事項等)

矯正治療の見学・介補の際には、患者様に不快な思いをさせないように十分に配慮し、言動に気を配ること。

平成24年度 臨床実習1 (5月～9月)

診療科名：小児歯科
担当教員名：清水邦彦、清水武彦、荒井清司、小川 京、臼井 朗、伊藤奈々、 小尾友美、折野大輔、平井則光
実施場所：小児歯科診療室
① ユニット課題 小児期の歯科診療を理解する
② 到達目標 (GIO) 小児の歯科治療および口腔疾患の予防を行うために基礎的な知識、技能、態度を身につける。
③ 行動目標 (SBOs) 小児の齲蝕治療を理解する。 小児の抜歯および外傷について理解する。 小児の保険について理解する。 小児の対応について理解する。 小児の予防処置を理解し、行う。 小児の定期健診を理解する。 小児の症例検討を行う。
④ 学習方法 (LS) 診療の見学および介補を行う。また担当した症例のディスカッションを行う。
⑤ 評価方法 (EV) 別紙の見学・評価表に記載した事項に従い評価する (85%) 必要に応じて口頭試問およびレポートを課す (15%)
⑥ 備 考 (その他留意事項等) 小児患児は、ほとんどの場合、保護者と同伴して来院する。保護者は自分の子供がどのような院内生に診られるのか多少の不安を抱いている。どの世代の保護者にも安心して子供を任せられるような院内生でなくてはならない。

平成24年度 臨床実習1 (5月～9月)

診療科名：麻酔・全身管理科
担当教員名：渋谷 勉、山口秀紀、石橋 肇、卯田昭夫、下坂典立、鈴木正敏、峯村麻由、岡部靖子
実施場所 外来および全身管理室または手術室
① ユニット課題 全身麻酔
② 到達目標 (GIO) 安全な歯科治療を施行するために、全身麻酔法の基本的な知識と技術を習得する。
③ 行動目標 (SB0s) 1. 医療面接をはじめとする各種データから、術前のリスク判定ができる。 2. 基本的なバイタルサインの測定ができる。 3. 全身麻酔の流れについて説明することができる。 4. 全身麻酔に用いられる薬剤について述べるができる。
④ 学習方法 (LS) 全身麻酔症例の術前診察および術中見学。
⑤ 評価方法 (EV) 見学態度、レポート内容、口頭試問および評価表により、総合的に評価する。 追加の見学実習を希望する場合は選択症例とし、評価に値すれば成績に加点とする。
⑥ 備 考 (その他留意事項等) ・実習は配属期間中に行う。実習日は術前診察日と火または木曜日の手術日の2日間の 見学で、1症例につき見学者数は2名までを原則とする。 ・臨床実習1で全身麻酔または全身管理のどちらか一方の見学を必須とする。 ・症例の配当は毎週木曜日17時以降に401教室で行う。 ・術前診察見学日までに見学予定者全員がそろって、医局前に集合し、集合時間や症例 内容、注意事項について説明、伝達を受けること。 ・選択症例、その他を希望する院内生は医局員に申し出ること。

平成24年度 臨床実習1 (5月～9月)

診療科名：麻酔・全身管理科
担当教員名：渋谷 鉦、山口秀紀、石橋 肇、卯田昭夫、下坂典立、鈴木正敏、峯村麻由、岡部靖子
実施場所 外来または手術室
① ユニット課題 全身管理
② 到達目標 (GIO) 安全な歯科治療を施行するために、全身管理法および精神鎮静法の基本的な知識と技術を習得する
③ 行動目標 (SB0s) 1. 周術期管理に必要なモニターを選択し、患者に装着することができる。 2. 全身疾患を有する患者の歯科治療時の注意点について述べることができる。 3. 精神鎮静法の適応とその実施法について述べることができる。 4. 緊急偶発症発生時の対処法について述べることができる。
④ 学習方法 (LS) 全身管理症例の見学。症例により介補。
⑤ 評価方法 (EV) 見学態度、レポート内容、口頭試問および評価表により、総合的に評価する。追加の見学実習を希望する場合は選択症例とし、評価に値すれば成績に加点とする。
⑥ 備 考 (その他留意事項等) ・実習は配属期間中に行う。全身管理を必要とする患者の配当を受けた院内生は配属期間外でも選択症例として取り扱うことができる。 ・臨床実習1で全身麻酔または全身管理のどちらか一方の見学を必須とする。 ・症例の配当は毎週木曜日、17時以降に401教室で行う。 ・実習日時の少なくとも2日前までに担当医局員と連絡をとり、集合時間や症例内容、注意事項について説明、伝達を受けること。 ・選択症例、その他を希望する院内生は医局員に申し出ること。

平成24年度 臨床実習1(5月～9月)

診療科名：特殊歯科

担当教員名：伊藤政之、野本たかと、梅澤幸司、林佐智代、田中陽子、和井田暢子
水野貴誠、伊藤梓、猪俣英理、地主知世

① 課題

見学により障害者歯科診療で重要となる障害についての理解を深めるとともに診療介補を体験する。また、理解の確認とさらなる知識の習得のため口頭試問と課題レポートを課す。

② ユニットGIO および行動目標 (SB0s)

GIO: 歯科医療の対象としての障害者の存在を知り、その臨床の実際を体験することを通じてスペシャルニーズがある人を患者として受け入れることができるような歯科医師としての知識・態度を修得する。

SB0s:

- 1) 診療の流れを理解して説明することができる。
- 2) スペシャルニーズがある人の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。
- 3) 障害者歯科治療における行動調整法を観察し、説明できる。
- 4) 口腔内診査の介補を実践できる。

③ 実施方法

1. 実習方法
診療見学、口腔内診査の介補、口頭試問、レポート
2. 実習内容
 - 1) 症例と症例数 (minimum requirement)
 - (1) 〈必修症例〉
 - ・口腔内診査の介補症例 : 症例数 1
 - ・実習内容 口腔内診査の介補
 - (2) 〈見学症例〉
 - ・治療症例 : 症例数 8
 - ・実習内容 見学
 - 2) 口頭試問
口頭試問は原則として、口腔内診査の介補症例、治療症例に関連した事項、ポリクリ時の課題レポートより各指導医が出題する。
 - 3) レポート
レポート課題は口頭試問時に各指導医が決定し出題する。また、レポートは原則、口頭試問終了1週間後の正午までに特殊歯科内の提出棚に提出する。

④ 実施場所

特殊歯科診療室

⑤ 評価方法

実習態度、評価表記載の症例数・内容、口頭試問、課題レポート

⑥ 備 考（その他留意事項等）

1. 手続き

- 1) 実習当日までに、障害や行動調整手段等について事前の自習を行っておく。
- 2) 実習当日は9:30までに診療室へ集合する。
- 3) 実習当日は口腔内診査の介補方法ならびに“Four Handed Dentistry”の実技指導を行うので、その“手技”、“概念”についても復習しておく。
- 4) 実技の評価表への検印は、実習終了後1週間以内にもらうこと。
1週間を過ぎた場合は再実習を課す。
- 5) 実習終了時にアポイント帳に押印してもらう。
- 6) 押印後の評価表は臨床実習1終了時に回収するので、それまで各自保管する。
- 7) レポート（ノート）は、担当医の指示に従い、速やかに提出する。

2. 注意事項

1) 見学時の注意

- (1) 診療室内では私語を慎む。
- (2) 患者の障害についてや恐怖・不安をかき立てるような言動などの禁句を控える。
- (3) 患者に誠意を持ち、温かい心で接する。
- (4) 障害による“困難さ”には、必要に応じて手を貸すことが大切であるが、基本的には見学中は指導医から指示されたこと以外には手を貸さない。
- (5) 患者の面前に大勢で立たない。
- (6) 患者、保護者、介護者のいるところで指導医への質問は控える。
待合室や隣の治療室にも気を配る。
- (7) 見学症例数が到達数に達しても、実習時間中は見学をする。

2) 見学時の服装

- (1) 院内実習で定められた服装。帽子は使用しない。マスクは必要な場合に着用する。
- (2) 胸、腹部ポケット内に必要以上の筆記用具等を入れない。

3) 臨床実習1シラバス

配布された臨床実習1シラバスは臨床実習を受けるにあたって、事前に理解すべき事項が記載してある。したがって、十分に理解しているものとして臨床実習を進める。必ず、実習前に熟読しておく。

- 4) 実習当日は各自、既に配布してあるA4版のノートを持参する。
- 5) 特別な理由なく学生からの実習日変更依頼は認めない。

平成24年度 臨床実習1 (5月～9月)

診療科名：再生歯科

担当教員名：和田守康、長濱文雄、内山敏一、牧村英樹、西谷知子、菊地信之、
染井千佳子、村山優、北野沙弥香

実施場所：第3総合診療室 ユニットNo19～27

① ユニット課題

1. 臨床実習の期間内に3回行う。その中で、Opeの見学を1回行う。
2. 診療介補について介補者1名までとする。但し、Opeの場合は3名までとする。

② 到達目標 (GIO)

再生歯科治療を実践できるようになるために必要な基本的知識・技能および態度を習得する。

③ 行動目標 (SBOs)

1. 歯の移植・再植の概念を習得する。
2. 外科的歯内療法概念を習得する。
3. 歯の移植・再植および外科的歯内療法を考慮した治療計画を立案できる。
4. 一般的な診療の概念を理解する。

④ 学習方法 (LS)

1. 診療室での介補・Opeの見学
2. レポートおよび口答試問

⑤ 評価方法 (EV)

1. 臨床実習態度
2. 口頭試問
3. レポート

⑥ 備 考 (その他留意事項等)

Opeの見学を希望する者は、再生歯科Ope台帳に院内番号と氏名を記入すること。
患者と実際に接することから、清潔な身なりで、また、適度な緊張感をもって介助・
Ope見学を行うこと。

平成24年度 臨床実習1 (5月～9月)

診療科名：顎関節・咬合科

担当教員名：成田紀之、西村均、内田貴之、小見山道、大久保昌和、神谷和伸、下坂典立、飯田崇

実施場所：

病院3階診療室3、5、顎関節・咬合科（口・顔・頭の痛み外来(歯科)）

① ユニット課題

- ・顎関節・咬合科（口・顔・頭の痛み外来(歯科)）で症例の見学をする。
- ・見学症例の診査・診断プロセスと治療の内容に関するレポートを提出する。
- ・提出レポートについての口頭試問を受ける。

② 到達目標（GIO）

顎関節ならびに口腔顔面痛患者の診査・診断プロセスと治療に関する知識を習得する。

③ 行動目標（SB0s）

1. 問診について説明できる。
 - 1) 主訴と現病歴および既往歴について説明できる。
 - 2) 疼痛の部位、性状、程度などについて説明できる。
2. 診査について説明できる。
 - 1) 顎、顔面、頸部の筋の診査を説明できる。
 - 2) 顎関節の診査を説明できる。
 - 3) 運動制限の診査を説明できる。
 - 4) 画像検査の説明ができる。
3. 診断について説明できる。
4. 病態および治療方針について説明できる。

④ 学習方法（LS）

- 顎関節・咬合科（口・顔・頭の痛み外来(歯科)）での症例見学（3症例）を行う。
- ・担当医へ見学症例のレポートを提出する。
 - ・担当医からレポートの内容の口頭試問を受ける。

⑤ 評価方法（EV）

- 1 症例見学
- 2 見学症例に関するレポートの評価
- 3 レポートに対する口頭試問

⑥ 備 考（その他留意事項等）

- ・わからないことは何でも聞くようにして下さい。
- ・担当医から診断の基準をよく習ってください。

参考図書

TMDを知る

ベルの口腔顔面痛

口腔顔面痛 基礎から臨床へ

Okeson TMD

口腔顔面痛の最新のガイドライン改訂第4版

クインテッセンス出版1997

クインテッセンス出版1998

クインテッセンス出版2001

医歯薬出版 2006

クインテッセンス出版2009

平成24年度 臨床実習1（5月～9月）

診療科名： 口腔インプラント科

担当教員名：加藤 仁夫、村上 洋、井下田 繁子、玉木 大之、北川 剛至、毛塚 和哉、
安岡 沙織、櫻井 甫、薄倉 優美、竹野 智崇

実施場所

1. 3階口腔インプラント科診療室、小手術室、4階手術室、総合診療室
2. インプラント説明会会場
3. 校舎棟教室（詳細は、別途指示）
4. 院内技工室・職員技工室・医員技工室

① ユニット課題

インプラント治療における診断からメンテナンス・リコールまで一連の流れについて理解し、医療チームの構成員として適切な行動をとる。

② 到達目標（GIO）

欠損補綴の回復方法を適切に患者に提供するために、インプラント治療に関する基本的知識、技能、態度を習得する。

③ 行動目標（SB0s）

1. 患者にインプラント治療法（外科・補綴）を説明できる。
2. インプラント治療の特徴について述べることができる。
3. インプラントの治療計画（診察・検査・診断）をたてることができる。
4. インプラントを用いた治療法と従来の治療法を比較し、メリットとリスクを説明できる。
5. インプラント治療のリスクファクターを説明できる。
6. インプラントのメンテナンス・リコールの必要性を説明できる。
7. インプラントの合併症について説明できる。
8. インプラント模型を用いた埋入実習ができる。

④ 学習方法（LS）

1. インプラント患者説明会にコ・デンタルスタッフとして参加し、報告書を提出する。
2. インプラント患者の症例見学、介補を行い、担当医をディスカッションを行う。
3. 指定した内容の事前学習を行い、テストに参加する。
4. 見学症例のレポートを提出する。
5. インプラント模型実習およびグループディスカッションを実施する。

⑤ 評価方法（EV）

1. 患者説明会（報告書提出）の参加、インプラント1次手術の見学、模型実習
2. 症例見学検印数およびレポート提出（評価に加点）
3. 指定した事前学習およびテスト（詳細は、後日連絡）

⑥ 備 考（その他留意事項等）

- ・事前学習の上で、すべての実習に参加すること。
- ・インプラント説明会：参加予約表に院内番号、氏名を記載し、担当医に確認すること。準備から参加し、途中退出不可。（各回原則6名まで）
- ・模型実習は、指定日に参加。
（欠席を認めない。病欠など診断書がある場合には応相談。）
- ・インプラント手術見学など予約が必要。
- ・配属期間中の検印のみが有効。チーム診療担当患者の場合には、通年で検印が有効。
- ・レポートは、口腔インプラント学講座医員（教育医員）のみ、見学などは口腔インプラント科員の検印有効。

平成24年度 臨床実習1（5月～9月）

診療科名：スポーツ健康歯科
担当教員名：川良美佐雄（教授），黒木俊一（准教授），小見山 道（専任講師），鈴木浩司（専任講師），浅野 隆（専任講師），飯田 崇（助教）
実施場所 日本大学松戸歯学部附属病院 3階総合診療室
① ユニット課題 ・スポーツマウスガード製作のための印象採得・装着・調整の見学 ・睡眠時無呼吸症候群患者の口腔内装置製作治療における印象採得・装着・調整の見学
② 到達目標（GIO） 患者の口腔外傷予防や健康増進に対する要望に応えるために，スポーツ歯科医学や睡眠健康科学に必要な知識，態度，技能を習得する。
③ 行動目標（SB0s） ・スポーツにおける顎口腔系の動態について説明できる ・スポーツマウスガードの目的を説明できる ・いびきや睡眠時無呼吸症候群の病態を説明できる ・いびきや睡眠時無呼吸症候群の歯科的対応について説明できる
④ 学習方法（LS） ・模型印象等の実技 ・チェアサイドでの診療見学および介補
⑤ 評価方法（EV） 1. 臨床実習に臨む態度を評価 2. 介補、見学時の態度を評価 3. レポート、口頭試問により知識を評価 4. 評価は補綴科に含む
⑥ 備 考（その他留意事項等） 1. 臨床実習1・2の期間内に各々1回以上の見学を行い、レポート提出。その後、口頭試問を行う。 2. 見学ができなかった場合は、課題に対するレポート提出を行い、その後、口頭試問を行う。 3. レポートは見学後、2週間以内に担当医に提出する。 4. レポート提出後、速やかに口頭試問を受ける。 5. 見学のアポイントは担当医員に当該症例のアポイント状況を確認して取ること

平成24年度 臨床実習1 (5月～9月)

診療科名：脳神経外科

担当教員名：平山 晃康、荻野 暁義

実施場所

外来診察室(3階)、入院病棟、手術場、血管撮影室

① ユニット課題 頭部頸部疾患に対する手術

② 到達目

頭蓋顎顔面および頭頸部領域患者に対し幅広い診断と治療計画が立案できるようになる。また、手術（血管内手術を含む）において必要な最低限の知識、技能、および態度を学修する。

③ 行動目標 (SB0s)

1. 適切な処置手術が選択できる。
2. 必要な術式が説明できる。
3. 助手として手術に参加できる。
4. 術前術後の患者管理について説明できる。

④ 学習方法 (LS)

(1) 学生に対する手術症例見学

: 術前回診、手術見学および介補、術後回診、レポート、口頭試問

(2) 選択症例臨床実習2の期間内に行なわれる手術症例の中から学生が希望するものを見学することができる。

1 症例につき学生2～3名。

⑤ 評価方法 (EV)

1. レポートの提出
2. 口頭試問

⑥ 備考 (その他留意事項等)

不明な点は、メール (hirayama.teruyasu@nihon-u.ac.jp) してください。

職員技工室の配属について

1. 時 間 午前 9 時 40 分から午後 4 時 30 分まで
2. 場 所 職員技工室
3. 内 容 技工物の印象から完成までの見学研修
 - (1) 研究用模型の製作
 - (2) 印象及び技工物の受渡し
 - (3) 技工指示書の内容の確認（ミス及び完成日のチェック）
 - (4) シェードテイキング
 - (5) その他
4. 休 憩 午前 11 時 30 分から午後 12 時 30 分までと、午後 12 時 30 分から午後 1 時 30 分までの交替制

臨床実習2

シ ラ バ ス

臨床実習 2 の実施方法

1. 実習のシステム

- 1) 現行の 12 班を、第 1 グループ (A・B 班)、第 2 グループ (C・D 班)、第 3 グループ (E・F 班)、第 4 グループ (G・H 班)、第 5 グループ (I・J 班)、第 6 グループ (K・L 班) に 6 分割する。
- 2) セメスターを 6 期に分割する。
- 3) 各グループは、期間単位で配属表に従いローテイトする。

2. 各診療科の臨床実習

- 1) 担当患者さんの診療は担当医員のアポイント帳のもとに行い、配属とは無関係に行う。
- 2) 臨床検査科、特殊歯科は配属により、口腔インプラント科は口腔外科配属期間中に班別実習およびアポイントにて行う。
- 3) 放射線科はセメスター期間を通して配属によって行う。
- 4) 初診科、小児歯科、矯正歯科および麻酔・全管科は、セメスターの期間を通してアポイントにより行う。但し、見学・介補等については期間単位で指定された期間に行う。
- 5) 再生歯科、顎関節・咬合科、スポーツ健康歯科は配属期間中に、医科は、セメスターの期間を通して自由にアポイント等により行う。
- 6) 予診（診断情報）の収集は、日程表に従い行う。
- 7) 全ての診療科の臨床実習は、学生のアポイント帳に実習時間（内容）を記載・検印して行う。

3. 臨床実習ノート

臨床実習における見学・介補、実技等の実習内容の記録として、各診療部の指示により使用する。臨床実習ノートには患者様の氏名、住所、電話番号等は記載してはならない。

患者さんの情報が記載されているためこのノートの管理には十分注意すること。

4. アポイント帳

診療のアポイントに際して予約検印を受け、診療時あるいは診療後に指導医員に終了検印を受ける。見学・介補の際も同様に指導医員欄に検印を受ける。

5. 新患担当

数名の患者さんを担当する。

6. 引継ぎ患者

新患担当患者さんおよび引継診療患者様とあわせて約 10 数名の患者さんを常に担当する。実習期間に終了、中止等の場合は治療計画書の変更手続き等を治療計画室に必ず届け出ること。随時補充をうけることとなる。

7. 出欠席について

午前 月～土 歯科医学総合講義 5 で出席調査 8:40

午後 月～金 16:30 土 13:00 各配属先診療科

朝出欠席調査時は院内白衣に着替えておくこと（着替えていない場合欠席とみなす）。

歯科医学総合講義 5 に関する試験実施日は、朝の出席は試験の出欠をもって行う。

注）臨床実習の実施方法についての詳細は日程表を参照のこと。

平成24年度 臨床実習2 配属表

期	1	2	3	4	5	6	
週日+土曜日	18+4	19+2	19+4	18+4	18+4	24+5	
期間	10月1日～10月27日	10月28日～11月23日	11月24日～12月20	12月21日～1月28日	1月29日～2月23日	2月24日～3月30日	
配当患者の処置							
セメスター期間を通してアポイントによって行う							
班	初診科, 小児歯科, 矯正歯科: セメスター期間中配属, アポイントにより行う 放射線科, 特殊歯科, 臨床検査科: セメスター期間中配属により行う 再生歯科, 顎関節・咬合診療科, スポーツ・睡眠健康歯科, 口腔インプラント科: 班別実習, 配属期間中にアポイントにより行う 麻酔・全身管理科: セメスター2期間の範囲でアポイントにより行う 医科, 予防管理科: 期間中に自由にアポイント等により行う						
AB	配 属	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科
	ローテイト配属先	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科	麻酔・全身管理科	再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	口腔インプラント科		再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科
CD	配 属	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科
	ローテイト配属先	再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	口腔インプラント科		再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科	麻酔・全身管理科
EF	配 属	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科
	ローテイト配属先		再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科	麻酔・全身管理科	再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	口腔インプラント科
GH	配 属	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科
	ローテイト配属先	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科	麻酔・全身管理科	再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	口腔インプラント科		再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科
IJ	配 属	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科
	ローテイト配属先	再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	口腔インプラント科		再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科	麻酔・全身管理科
KL	配 属	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科	保存科・歯周科	補綴科	口腔外科
	ローテイト配属先		再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	麻酔・全身管理科 口腔インプラント科	麻酔・全身管理科	再生歯科 顎関節・咬合科 スポーツ健康歯科	口腔インプラント科

*配属の詳細日程表を参照のこと

平成24年度 臨床実習2（10月～3月）

診療科名：臨床検査科

担当教員名：福本雅彦・深津晶・続橋治・布施恵・市村真奈・田中征宏・小西里美

実施場所

校舎棟2階歯科臨床検査医学講座医局に集合する。その後担当医と病院棟へ移動する。

① ユニット課題

全身疾患を有する患者の歯科診療時に必要な検査項目を理解し、それらの検査を実施し、その検査結果を分析する。

② 到達目標（GIO）

臨床実習1で習得した基礎知識をもとに、臨床の現場に患者によりよい歯科診療を実践するために必要な臨床検査の知識・技能・態度を習得できる。

③ 行動目標（SB0s）

1. 歯科臨床における臨床検査の目的・概要を説明できる。
2. 外来で行われている検査方法を理解できる。
3. 臨床検査データの基本的分析が出来る。

④ 学習方法（LS）

1. 実習方法
試験、見学・介補、口頭試問、レポート
2. 実習内容
 - 1) 試験
歯科診療に必要な臨床検査の目的・概要・基準値等について。
 - 2) 見学・介補
診療に支障がない場合に与える。
 - 3) 口頭試問
実習中に担当医が出題する。実習を行うための知識だけでなく、検査項目、検査理由、基準値等について質問する。
 - 4) レポート
各自に検査データの分析レポートを出題する。1症例を必須とする。

⑤ 評価方法（EV）

実習態度、試験、口頭試問、分析レポートの結果をふまえ、総合的に評価する。

⑥ 備 考（その他留意事項等）

1. 配属該当者は、臨床実習1の評価表、4年次で使用したノート・プリントおよび筆記用具を持って、校舎棟2階歯科臨床検査医学講座医局に集合する。その後担当医と病院棟へ移動する。
2. 分析レポートは2週間以内に担当医に提出する。

平成24年度 臨床実習2（10月～3月）

診療科名：放射線科
担当教員名：金田 隆，池島 厚，小椋一朗，森進太郎
実施場所：放射線科診療室
① ユニット課題 1) 口内法エックス線検査を行う。 2) パノラマエックス線検査を行う。 3) デジタルエックス線画像システムを操作する。 4) 頭部単純エックス線検査を見学する。 5) CT, MRIおよび超音波検査を見学する。 6) 口腔・顎顔面領域の画像診断を行う。
② 到達目標 (GIU) 将来、歯科医師として顎顔面領域のエックス線撮影および画像診断ができるようになるために、各種画像検査法、口腔・顎顔面領域の正常像および病態像を修得する。
1) 口内法エックス線検査ができる。 2) パノラマエックス線検査ができる。 3) デジタルエックス線画像システムの操作ができる。 4) 頭部単純エックス線検査が説明できる。 5) CT, MRIおよび超音波検査が説明できる。 6) 口腔・顎顔面領域の画像診断ができる。
④ 学習方法 (LS) 1. 放射線科配属（2日間） 1) 放射線診療業務：当日の担当医の指導のもと、通常の放射線診療に参加し、多くのエックス線写真を読影して、正常像および病態像を修得する。 2) 画像検査見学：顎顔面領域疾患に必要な頭部単純エックス線検査、CT, MRI, 超音波検査等を見学する。担当医により画像検査法や画像解剖等の口頭試問を受ける。 3) Teaching file：PCを用いて、症例を読影し、読影報告書を作成する。担当医により画像診断の口頭試問を受ける。 2. 他科配属及び担当患者の撮影実習 1) 担当患者の撮影は担当学生の本務とする。 2) 他科配属中に撮影依頼があった場合、積極的に撮影実習を行うこと。 3) 口内法エックス線検査3例およびパノラマエックス線検査1例を本務とする。また、撮影後の読影は2週間以内に必ず行う。
⑤ 評価方法 (EV) 1) 放射線科配属：口頭試問、実習態度、Teaching file の読影所見等にて行う。 2) 他科配属及び担当患者の撮影実習：エックス線撮影および読影所見にて評価する。 3) 実技(80%)および実習態度(20%)によって評価点とする。
1) 参考図書 (1) 歯科放射線学実習書（日本大学松戸歯学部放射線学講座編） (2) Q&Aで学ぶ歯科放射線学：SBOs講義（学建書院） (3) 歯科放射線診断 teaching file 第2版（砂書房） (4) 画像でみる歯科放射線(CDR)（わかば出版） 2) 実習上の諸注意 (1) 診療室では通常の診療が行われているため、私語は慎むこと。 (2) 機器の取扱いには十分注意すること。

平成24年度 臨床実習2 (10月～3月)

診療科名：保存科(保存修復)
担当教員名：池見 宅司、平山 聡司、鈴木 英明、神谷 直孝、岡田 珠美、森 俊幸、 岩井 啓寿、齊藤 千春、壹岐 宏二、関根 哲子
実施場所 病院棟2階 保存科診療室
① ユニット課題 保存修復治療における診療介助、見学、口頭試問および自験の実施
② 到達目標 (GIO) 保存修復治療が行えるようになるために、保存修復治療の臨床的な知識、技能および態度を身につける。
③ 行動目標 (SB0s) 1) 処置内容に沿った適切な術前・術後の説明ができる。 2) 硬組織疾患の検査ができる。 3) MIを考慮した齲窩処置ができる。 4) コンポジットレジン修復の術式と使用器具について説明できる。 5) コンポジットレジン修復の仕上げ研磨ができる。 6) 修復前処置ができる。 7) 単純窩洞のコンポジットレジン修復ができる。
④ 学習方法 (LS) 1) 修復処置の介助・見学を臨床実習1・2を通して80回以上行う。 2) 見学症例に関連する口頭試問を臨床実習1・2を通して5回行う。 3) 自験は臨床実習1・2を通して、術前・術後の説明1回以上、硬組織疾患の検査1回以上、修復前処置1回以上、コンポジットレジンの研磨1回以上、MIを考慮した齲蝕処置1回以上、単純窩洞のコンポジットレジン修復を1回以上行う。 4) 臨床実習2期間中に保存科日直業務を3回行う。
⑤ 評価方法 (EV) 1) 介助・見学の検印数：60% 2) 自験の評価：20% 3) 口頭試問の評価：20% 4) 臨床実習態度 以上に対する総合的評価を臨床実習2の評価とする。
⑥ 備 考 (その他留意事項等) 1) 検印表は毎回必ず持参し、見学終了時に必要項目を記載し検印を受けること。 2) 日直業務は担当医の指示に従い、主として急患来院患者に対する診療介助を行う。 3) 見学者数は基本的に介助者1名、見学者1名の計2名とする。ただし、症例数が少ないものは例外として計4名まで見学可とする。 4) 口頭試問成績不良者と口頭試問を期限までに受けなかった者には別途レポートを課す。 5) 自験の到達目標を達成できない者には別途レポートを課す。

平成24年度 臨床実習2

診療科名：保存科（歯内療法）
担当教員名：松島 潔、辻本恭久、川島 正、小塚昌宏、三浦 浩、岡部 達、 神尾直人、神尾素代、室町幸一郎、和田陽子、諸橋利朗
実施場所：病院診療室
①ユニット課題：歯内療法処置を実施する。
②到達目標（GIO）：歯内療法処置を実施するために、臨床に必要な知識、態度および技能を修得する。
③行動目標（SBOs）： (1)問診および各種検査ができる。 (2)主訴および必要な検査から処置方針の決定ができる。 (3)歯内療法処置に必要な器材、薬剤が準備できる。 (4)適切な診療介補ができる。 (5)根管拡大を適切にできる。 (6)根管長測定を適切にできる。 (7)根管充填の介補を適切にできる。 (8)根管充填後の裏層を行える。 (9)根管充填後のX線写真を判読できる。 (10)患者に根管充填後の注意事項について説明できる。
④学習方法（LS） 1)実施方法 診療介補とそれに関連する実技実習 2)実施内容 ①歯内療法の見学・介補を50回以上行う。②評価表の実技を評価表の実施項目に従って実施する。臨床見学については2名までとする。（介補者は除く）
⑥評価方法（EV） (1)歯内処置の見学・介補ならびに評価表の検印数 (2)臨床実習態度
⑦備考（その他留意事項等）

平成24年度 臨床実習2 (10月～3月)

診療科名：歯周科(予防管理科)

担当教員名：小方頼昌，吉野祥一，中山洋平，目澤 優，鈴木桃子，大橋頭二郎，
小山朱美，佐々木庸子，岡野千春，武井美佑紀，廣松勇樹，豊嶋 泉

実施場所：付属病院歯周科診療室

① ユニット課題：歯周治療における介補・実技の実施および実技試験

② 到達目標 (GIO)：実際の臨床を通じて、歯周治療を実施するための技能、態度を習得し、総合的に歯周治療を理解する。

③ 行動目標 (SBOs) 1)問診ができる。2)歯垢染色ができる。3)ブランクコントロールレコードの記入ができる。4)ブラッシング指導ができる。5)スケーリング・ルートプレーニングが実施できる。6)歯週外科治療の種類の説明ができる。7)歯週外科治療で使用する器具の名称と使用法が説明できる。8)サポータティブペリオドンタルセラピー(SPT)で行う項目について説明できる。

④ 学習方法 (LS)

1. 実習方法：診療見学・診療介補および実技，歯周外科手術の見学，症例検討会(CPC)，口頭試問，日直。

2. 実習内容：

1)必修症例と症例数

＜見学，介補および実技＞

実習方法と実習項目の表を参照。症例数については65症例とする(これ以外に，歯周外科治療を4症例以上見学および介補を行う。)各項目の必須症例の見学および介補を行い，臨床実習評価として担当医に評価をもらう。

＜症例検討会：CPC＞

配属期間に関わらず，班ごとに症例検討会に参加する。CPCは，原則として毎週金曜日，午後6時より第4実習準備室にて行うので，班ごとに決められた日時(別紙配布)に参加すること。正当な理由で参加できない場合には，事前にその旨を申し出て予備日に参加することを認める。

＜レポート＞

CPCに参加した学生は担当医からレポート課題を受け，レポートを提出する。担当医は院内番号に従って定める(下記参照)。レポート提出に際して口頭試問を受ける。レポート，口頭試問の結果が適切な場合は検印を受ける。

1；大橋 2；小山 3；佐々木 4；鈴木 5；武井 6；目澤 7；吉野 8；岡野 9；中山

10以降；廣松，豊嶋

＜歯周外科治療の見学＞

歯周外科治療の見学者は原則として，1症例について5名までとする(担当学生は含まない)。ただし，担当学生がいない場合に限り介補担当者として1名の追加を認める。歯周外科治療の見学を希望する学生はオペ台帳に学生番号，氏名を記入し担当医の検印をただちに受けること(検印を受けていない学生はオペの見学を無効とする)。また，正当な理由で見学できなくなった場合はその旨を担当医に連絡し検印を受け，2重線(修正液不可)で氏名が確認できるように訂正すること。歯周外科治療の見学を行った学生は，その症例内容に応じたレポートを作成し，レポート提出に際して口頭試問を受ける。レポート，口頭試問の結果が適切な場合は検印を受ける。

3. 選択症例と症例数

＜見学，介補および実技＞

歯周科における実習は原則的に配当患者に対する介補および実技をもって評価する。配当患者については各班ごとに担当医を定めるので下記の担当医から各自2名以上の配当を受けること。

担当医一覧：A；小方 B；大橋 C；鈴木 D；小方 E；小方 F；岡野 G；中山 H；佐々木 I；武井 J；小山 K；目澤 L；吉野

⑤ 評価方法 (EV) 原則として診療室における指導責任者、担当医による指導に従い、見学・介補および実技を行うが、症例内容については必要に応じて随時、口頭試問、レポートを課す。歯周科における評価は、配属期間中に限らず評価する。チーム診療の配当、歯周科配当に対する介補・実習は配属期間中に限らず対象とする。ただし、見学については配属期間中に限って認めるが、歯周外科治療の見学および介補は、配属期間に限らず認める。

＜評価基準＞

1) 目標症例・選択症例(65症例の達成率、外科治療がある場合、準備、見学、介補など、それ以外に歯周外科治療を4症例以上見学および介補を行う)

2) 歯周科の日直としての業務に対する評価

3) CPCの評価

4) 口頭試問、レポートの評価

5) 介補および実技(歯周精密検査、ブラッシング指導、スケーリング・ルートプレーニング、PMTCの手技の評価)

以上に対する総合的評価をセメスターの評価とする。

⑥ 備 考 (その他留意事項等) 実習中の諸注意

1) 症例の評価は、見学、介補および実技後にその内容を理解しているかをチェックしてから検印を行う。

2) 期間中は、日直または指導責任者、担当医の指示に従う。また、班ごとに指導責任者の指示に従い、担当医と密接に連絡を取りながら、実習が円滑に行えるように計画的に実習を遂行すること。実習実施日の前日までに必ず担当医とアポイントを取り、アポイント帳に検印を受けること。また、当日の準備などについても、担当医の指示を仰ぐこと。担当医、指導責任者の許可なく、診療室に不在の学生は、実習を放棄したものとみなす。万が一欠席する場合は、担当医の許可を得て適切な指示を仰ぐこと。

3) 歯周科の評価表は、毎日必ず持参し、評価表の記入については、見学、介補および実技表について、症例ごとに日付、該当する細項目名および番号を記入し検印を受けること。(実技表に検印を受ける場合、見学、介補表には同一診療の検印を受けられないので注意すること。)

4) 歯周科配属期間中は、各3～5名の日直を設ける(別紙参照のこと)。歯周科日直の義務は以下の事とし、やむを得ない理由で日直が行えない場合は事前に必ず代理を立て、その旨を日直担当医に報告すること。

(1) 急患に対する準備・介補

(2) 教授の診療補助などの歯周科における診療が円滑に進むように担当医に従う。

平成24年度 臨床実習2 (10月～3月)

診療科名：補綴科（クラウンブリッジ）

担当教員名：會田雅啓，小林 平，大村祐史，若見昌信，田中孝明，後藤治彦，
加藤仁美，金子珠美，齊藤美佳，田部井直子，河相安彦，成田紀之，
飯島守雄，伊藤誠康，大久保昌和，木本 統，桑原克久，林 幸男，
中田浩史，石井智浩，神谷和伸，矢崎貴啓，池口信之，井上正安，
菅野京子，小出恭代，佐藤貴信，島 由樹，末光弘宣，宗 邦雄，
中村耕実，義隆淑子

実施場所： 病院診療室，院内技工室，職員技工室，医員用技工室

① ユニット課題

配当患者または見学について患者におけるクラウンブリッジ製作の治療過程において，見学・介補および実技を行い，その過程を理解し，治療法を習得する。

② 到達目標（GIO）

クラウン・ブリッジの診査・診断，治療計画，術式および予後について介補，見学，実技，技工を通じ理解し，その基本的臨床能力を身につける。

③ 行動目標（SB0s）

- 1) クラウンブリッジの診査項目を理解し行うことができる。
- 2) 予備印象を採得することができる。
- 3) クラウンブリッジの設計を含めた治療計画を立案することができる。
- 4) 支台築造の目的と方法について述べることができる。
- 5) 歯肉圧排の目的を理解し行うことができる。
- 6) クラウンおよびブリッジの支台歯形成について述べることができる。
- 7) 最終印象の方法を述べることができる。
- 8) プロビジョナルレストレーションの作製および仮着ができる。
- 9) 咬合支持に応じた咬合採得を理解し行うことができる。
- 10) フェイスボウトランスファーの意義と操作方法を理解し行うことができる。
- 11) シェードテイキングを述べることができ行うことができる。
- 12) 咬合器の目的と取り扱いについて述べることができる。
- 13) クラウンブリッジ試適時における診査項目を理解することができる。
- 14) クラウンブリッジの仮着を理解し行うことができる。
- 15) クラウンブリッジの装着について述べることができる。
- 16) クラウンブリッジの術後管理について指導ができる。
- 17) 装着後のトラブルおよび変化の原因と対処法について述べることができる。

④ 学習方法（LS）

担当患者や日直もしくは見学患者の診療での介補・見学を主体として担当教員との2～3人でのスモールグループによる実習を行う。

⑤ 評価方法（EV）

見学・介補・実技について検印数および評価点数により採点を行い，実習態度等の内容も含め総合的に判断して最終評価とする。①表（配当患者）および実施の点数は3点，②表（見学症例）の点数は1点とする。①表（配当患者）は介補・見学を終了した時点でカルテ番号と日付を記載し，2週間以内に進行表に治療内容を記載し口頭試問を受け，担当医の検印を受けたものとする。期日を過ぎたものおよび記載事項が不備，口頭試問で理解が得られていない者は評価表②に検印を行う。実技を行ったケースに関しては口頭試問を行い，①もしくは②表と③表に検印を受ける。

⑥ 備 考（その他留意事項等）

事前学習の上で見学・介補を行い，不明な点は事後補うこと。見学・介補における検印は担当教員または併印で可。実技は担当教員の検印のみ有効。実技においては途中で医員への交代を促す場合がある。別途必要な評価表を配布する。

平成24年度 臨床実習2 (10月～3月)

診療科名：補綴科（局部床義歯）

担当教員名：會田雅啓・河相安彦・成田紀之・小林 平・飯島守雄・大村祐史・若見昌信・田中孝明・伊藤誠康・大久保昌和・木本 統・桑原克久・林 幸男・中田浩史・石井智浩・後藤治彦・神谷和伸・矢崎貴啓・池口伸之・井上正安・菅野京子・小出恭代・佐藤貴信・島 由樹・末光弘宣・宗 邦雄・中村耕実・義隆淑子・斉藤美佳・加藤仁美・田部井直子・金子珠美（順不同）

実施場所：附属病院補綴科診療室、院内技工室、職員技工室、医員用技工室

① ユニット課題：配当患者または見学に就いた患者における局部床義歯製作の治療過程において、見学・介補および実技を行い、局部床義歯製作の過程を理解し、治療法を習得する。局部床義歯治療に必要な知識を習得する。

② 到達目標（GIO）：患者個々に適した局部床義歯を作製する基本的臨床能力を身につけるために必要な診査・診断、術式および予後に関する知識，技能および態度を習得する。

③ 行動目標（SB0s）

- ① 補綴歯科治療に必要な器具・器材を適切に使用することができる。
- ② 補綴歯科治療に必要な検査機器を適切に使用することができる。
- ③ 義歯の設計を適切にできる。
- ④ 口腔内診察および検査結果に基づいて義歯の治療計画の立案が適切にできる。（予備印象と研究模型の製作を含む）
- ⑤ 治療計画に基づいて適切な前処置（マウスプレパレーション）を行なうことができる。
- ⑥ 筋圧形成を適切に実施できる。
- ⑦ 印象採得を適切に行なうことができる。（個人トレーの製作を含む）
- ⑧ 咬合採得を適切に行なうことができる。
- ⑨ 咬合器を適切に調整することができる。
- ⑩ 人工歯を適切に選択することができる。
- ⑪ 仮床義歯試適時の診査を適切に行なうことができる。
- ⑫ 完成した義歯を患者に適切に装着することができる。
- ⑬ 患者に対して義歯使用上の注意点について説明できる。
- ⑭ 義歯装着後の調整を適切に行なうことができる。
- ⑮ リングクラスプのワックスアップができる
- ⑯ 義歯装着後の定期健診を実施することができる。
- ⑰ 義歯装着後の修理、再適合を適切に行なうことができる。
- ⑱ 患者の苦痛に配慮した診療介補および処置ができる。

④ 学習方法（LS）

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱ 臨床実習1・2期間中に見学・介補・実技

⑤ 評価方法（EV）

見学・介補については検印表への検印と口頭試問による評価を行う。実技については実技評価表による評価を行う。臨床実習2の期末にOSCATとWebClassによる試験を行う。

⑥ 備考（その他留意事項等）見学・介補をした項目について、口頭試問を行う。不合格の場合は見学・介補欄のみの検印となる。最低1度の見学の後に実技を行い、評価を受けること。リングクラスプのワックスアップの実技については別途通知する。OSCATとWebClassによる試験の受験資格については別途通知する。

平成24年度 臨床実習2（10月～3月）

診療科名：口腔外科

担当教員名：秋元芳明、近藤壽郎、神野良一、西村均、田中茂男、池谷美和、伊藤耕、原正浩、武田祥人、藤本陽子、青沼陽菜、瀧口晋平、石上大輔、須藤亜紀子、久保友美、山口桜子、田島秀人、羽田紗綾、平川剛、横川真千代、保坂海輝、石原芳紀、松本健司

実施場所：診療室、手術室、病棟

① ユニット課題：

口腔外科領域における的確な処置（抜歯・難抜歯・埋伏歯抜歯・外来小手術）を行うために必要な基本的知識、技能、態度を習得する。

臨床実習1、2を通して実技症例（問診、口腔内消毒、抜糸、縫合、処方箋等）を所定回数実施する。

臨床実習2の配属期間中には、抜歯介補症例を20例以上（8症例以上は埋伏し抜歯とする）、小手術症例介補あるいは見学を5症例以上、小手術症例においては3症例レポートを担当教員に提出する。

② 到達目標（GIO）：口腔外科領域における的確な処置（抜歯・難抜歯・埋伏歯抜歯・外来小手術）を行うために必要な基本的知識、技能、態度を習得する。

③ 行動目標（SBOs）：

①口腔外科外来診療の流れを理解し、患者に配慮した行動が出来る。

②口腔外科外来小手術で使用する器材の使用方法が説明できる。

③適切な手指消毒と滅菌グローブの装着ができる。

④適切な口腔内消毒が実施できる。

⑤各種局所麻酔法を理解し、浸潤麻酔を実施することができる。

⑥口腔外科領域における的確な処置に必要な器材を準備することができる。

⑦処置前・処置後に患者へ注意事項の説明ができる。

⑧処置前に患者のバイタル測定ができる。

⑨処置の介補ができる。

⑩小手術（抜歯以外）の術式を説明できる。

⑪有病者の歯科治療について留意点を説明できる。

⑫内服薬の処方ができる。

④ 学習方法（LS）：

①③－⑨⑫について患者実習

⑩について自習

⑪についてCSLで行う。

⑤ 評価方法（EV）：

①③－⑨⑫について観察記録およびOSCAT

⑩⑪についてレポートにて評価する。

⑥ 備考（その他留意事項等）：実技症例、準備症例の達成度、レポートの内容を総合的に評価する。小手術症例のうち3症例は、レポートを担当教員に提出する。その他の症例症例用紙に関しては、評価の加点とする。詳細については、所定用紙にて確認のこと。

平成24年度 臨床実習2（10月～3月）

診療科名：矯正科
担当教員名：葛西一貴、今村隆一、山口 大、小野修一、五関たけみ、榎本 豊、齋藤勝彦、岡野美紀、根岸慎一、徳永理利、葛西理恵、浅野正貴
実施場所 1) 分析・治療方針の立案（外科矯正症例）：第3・第3B会議室、学生セミナー室 2) 症例見学：矯正科診療室
① ユニット課題 1) 外科矯正症例について分析・治療方針の立案 2) 矯正治療の症例見学
② 到達目標（GIO） 基本的歯科矯正治療を実践できるようになるために必要な知識・技能および態度を習得する。
③ 行動目標（SB0s） 1) 模型分析が実施できる。 2) セファログラム分析が実施できる。 3) 模型・セファログラム分析から診断できる。 4) 診断から治療方法を立案できる。
④ 実施方法 A 分析・治療方針の立案 1) 模型分析：歯列長径・幅径および歯槽基底長径・幅径を計測しポリゴン図表に記載する。 2) セファログラム分析：トレースから必要な計測を行いポリゴン図表を完成する。 3) 模型・セファログラム分析の結果から診断・治療方針を立案する。 4) 治療に用いる矯正装置を選択し、作用機序および治療後の変化について討論する。 B 症例見学：指定された患者の矯正治療について見学・介補を行う。
⑤ 評価方法 1) 分析・治療方針の立案（第1症例80%）：評価シートにより評価を行う。 2) 症例見学（口頭試問20%）：臨床実習1期間中に、4回の見学および1回の介補を行い評価を行う。
⑥ 備 考（その他留意事項等） 矯正治療の見学・介補の際には、患者様に不快な思いをさせないように十分に配慮し、言動に気を配ること。

平成24年度 臨床実習2 (10月～3月)

診療科名：小児歯科
担当教員名：清水邦彦、清水武彦、荒井清司、小川 京、臼井 朗、伊藤奈々、 小尾友美、折野大輔、平井則光
実施場所：小児歯科診療室
① ユニット課題 小児期の歯科診療を理解する
② 到達目標 (GIO) 小児の歯科治療および口腔疾患の予防を行うために基礎的な知識、技能、態度を身につける。
② 行動目標 (SB0s) 小児の齲蝕治療を理解する。 小児の抜歯および外傷について理解する。 小児の保隙について理解する。 小児の対応について理解する。 小児の予防処置を理解し、行う。 小児の定期健診を理解する。 小児の症例検討を行う。 小児のラバーダムおよび断髄の介補を行う。
④ 学習方法 (LS) 診療の見学および介補を行う。また担当した症例のディスカッションを行う。
⑤ 評価方法 (EV) 別紙の見学・評価表に記載した事項に従い評価する (85%) 必要に応じて口頭試問およびレポートを課す (15%)
⑥ 備 考 (その他留意事項等) 小児患児は、ほとんどの場合、保護者と同伴して来院する。保護者は自分の子供がどのような院内生に診られるのか多少の不安を抱いている。どの世代の保護者にも安心して子供を任せられるような院内生でなくてはならない。

平成24年度 臨床実習2（10月～3月）

診療科名：麻酔・全身管理科
担当教員名：渋谷 勉、山口秀紀、石橋 肇、卯田昭夫、下坂典立、鈴木正敏、峯村麻由、岡部靖子
実施場所 外来および全身管理室または手術室
① ユニット課題 全身麻酔
② 到達目標（GIO） 安全な歯科治療を施行するために、全身麻酔法の基本的な知識と技術を習得する。
③ 行動目標（SB0s） 1. 医療面接をはじめとする各種データから、術前のリスク判定ができる。 2. 基本的なバイタルサインの測定ができる。 3. 全身麻酔の流れについて説明することができる。 4. 全身麻酔に用いられる薬剤について述べるができる。
④ 学習方法（LS） 全身麻酔症例の術前診察および術中見学。
⑤ 評価方法（EV） 見学態度、レポート内容、口頭試問および評価表により、総合的に評価する。 追加の見学実習を希望する場合は選択症例とし、評価に値すれば成績に加点とする。
⑥ 備 考（その他留意事項等） ・実習は配属期間中に行う（臨床実習1において全身麻酔を見学していないものが必須）。 ・実習日は術前診察日と火または木曜日の手術日の2日日間の見学で、1症例につき見学者数は2名までを原則とする。 ・症例の配当は毎週木曜日17時以降に401教室で行う。 ・術前診察見学日までに見学予定者全員がそろって、医局前に集合し、集合時間や症例内容、注意事項について説明、伝達を受けること。 ・選択症例、その他を希望する院内生は医局員に申し出ること。

平成24年度 臨床実習2 (10月～3月)

診療科名：麻酔・全身管理科
担当教員名：渋谷 鮎、山口秀紀、石橋 肇、卯田昭夫、下坂典立、鈴木正敏、峯村麻由、岡部靖子
実施場所 外来または手術室
① ユニット課題 全身管理
② 到達目標 (GIO) 安全な歯科治療を施行するために、全身管理法および精神鎮静法の基本的な知識と技術を習得する
③ 行動目標 (SBOs) 1. 周術期管理に必要なモニターを選択し、患者に装着することができる。 2. 全身疾患を有する患者の歯科治療時の注意点について述べるすることができる。 3. 精神鎮静法の適応とその実施法について述べるすることができる。 4. 緊急偶発症発生時の対処法について述べるすることができる。
④ 学習方法 (LS) ・全身管理症例の見学、症例により介補。 ・笑気吸入鎮静法について筆記試験および相互実習。
⑤ 評価方法 (EV) 見学態度、レポート内容、口頭試問および評価表により、総合的に評価する。追加の見学実習を希望する場合は選択症例とし、評価に値すれば成績に加点とする。
⑥ 備 考 (その他留意事項等) ・実習は配属期間中に行う。 ・全身管理を必要とする患者の配当を受けた院内生は配属期間外でも選択症例として取り扱うことができる。 ・臨床実習1において見学および採点が済んでいるものは必須ではない。 ・症例の配当は毎週木曜日、17時以降に401教室で行う。 ・実習日時の少なくとも2日前までに担当医局員と連絡をとり、集合時間や症例内容、注意事項について説明、伝達を受けること。 ・選択症例、その他を希望する院内生は医局員に申し出ること。 ・配属期間中に笑気吸入鎮静法について相互実習を行う。

平成24年度 臨床実習2（10月～3月）

診療科名：特殊歯科
①担当教員：伊藤政之、野本たかと、梅澤幸司、林佐智代、田中陽子、和井田暢子 水野貴誠、伊藤梓、猪俣英理、地主知世
②一般目標（GIO）： 歯科医療の対象としてのスペシャルニーズがある人の存在を知り、その臨床の実際を体験することを通じてスペシャルニーズがある人を患者として受け入れることができる歯科医師としての知識・態度を修得する。
③到達目標（SBOs）： 1. 診療の流れを理解して説明することができる。 2. スペシャルニーズがある人の身体的、精神的および心理的特徴を説明できる。 3. 特殊歯科における行動調整法を観察し、説明できる。 4. 各歯科治療の介補を実践できる。 5. スペシャルニーズがある人のホームケア指導について説明できる。
④実施方法 1. 実習方法 診療見学、各治療の介補、症例検討、レポート、臨床能力到達試験 2. 実習内容 1) 症例と症例数（minimum requirement） (1) 〈必修症例〉 ・治療の介補症例：症例数 1 実習内容 各治療の介補 (2) 〈見学症例〉 ・治療症例：症例数 8 ・実習内容 見学 2) 症例検討 症例検討は原則として、各指導医が提示した患者データをもとにホームケア指導について検討する。 3) レポート レポート課題は症例検討時に検討をした患者に対するホームケア指導について各指導医が出題する。また、レポートは原則として症例検討終了1週間後の正午までに特殊歯科内の提出棚に提出とする。 4) 臨床能力到達試験
⑤実施場所 特殊歯科診療室
⑥評価方法 実習態度、評価表記載の症例数・内容、症例検討、レポート、臨床能力到達試験

⑦備考（その他留意事項等）

1. 手続き

- 1) 実習前に担当医の指示により、必修症例の診療録ならびに電子カルテの閲覧を行う初回のコンタクトを設ける。この際、アポイント帳の実習予定日に押印を受ける。
- 2) 初回のコンタクトは、実習開始3日前（土、日、祝祭日は含まない）の17:00である。実習当日までに、症例患者に係わる障害、行動調整手段等について事前に自習する。
- 3) 実習当日は9:30までに診療室へ集合する。なお、試験等で集合時間に遅れる場合は事前に特殊歯科に申し出る。
- 4) 評価表への検印は、口頭試問終了後1週間以内にもらう。1週間を過ぎた場合は再実習を科す。
- 5) 実習終了時にアポイント帳に押印してもらう。
- 6) 押印後の評価表は臨床実習2終了時にまとめて回収するので、それまで各自保管する。
- 7) レポート（ノート）は、担当医の指示に従い、速やかに特殊歯科診療室内レポート提出棚に提出する。

2. 注意事項

1) 見学時の注意

- (1) 診療室内では私語を慎む。
- (2) 患者への不用意な言葉を控える。（患者の障害について、恐怖・不安をかき立てるような言動など）
- (3) 患者に誠意を持ち、温かい心で接する。
- (4) 障害による“困難さ”には、必要に応じて手を貸すことが大切であるが、基本的には見学中は指導医から指示されたこと以外には手を貸さない。
- (5) 患者の面前に大勢で立たない。
- (6) 患者、保護者、介護者のいるところで指導医への質問は控える。待合室や隣の治療室にも気を配る。
- (7) 見学症例数が到達数に達しても、実習時間中は見学をする。

2) 見学時の服装

- (1) 院内実習で定められた服装。ただし、マスク、帽子は原則的に使用しない。
- (2) 胸、腹部ポケット内に必要以上の筆記用具等を入れない。

3) 臨床実習2シラバス

配布された臨床実習2シラバスは臨床実習を受けるにあたって、事前に理解すべき事項が記載してある。したがって、十分に理解しているものとして臨床実習を進める。必ず、実習前に熟読しておく。

- 4) 実習当日は各自、既に配布してあるA4版のノートを持参する。
- 5) 特別な理由なく学生からの実習日変更依頼は認めない。

平成24年度 臨床実習2（10月～3月）

診療科名：再生歯科
担当教員名：和田守康、長濱文雄、内山敏一、牧村英樹、西谷知子、菊地信之、 染井千佳子、村山優、北野沙弥香
実施場所：第3総合診療室 ユニットNo19～27
① ユニット課題 1. 臨床実習の期間内に3回行う。その中で、Opeの見学を1回行う。 2. 診療介補について介補者1名までとする。但し、Opeの場合は3名までとする。
② 到達目標（GIO） 再生歯科治療を実践できるようになるために必要な基本的知識・技能および態度を習得する。
③ 行動目標（SBOs） 1. 歯の移植・再植の概念を習得する。 2. 外科的歯内療法概念を習得する。 3. 歯の移植・再植および外科的歯内療法を考慮した治療計画を立案できる。 4. 一般的な診療の概念を理解する。
④ 学習方法（LS） 1. 歯の移植・再植の概念を習得する。 2. 外科的歯内療法概念を習得する。 3. 歯の移植・再植および外科的歯内療法を考慮した治療計画を立案できる。 4. 一般的な診療の概念を理解する。
⑤ 評価方法（EV） 1. 診療室での介補・Opeの見学 2. レポートおよび口答試験
⑥ 備 考（その他留意事項等） Opeの見学を希望する者は、再生歯科Ope台帳に院内番号と氏名を記入すること。 患者と実際に接することから、清潔な身なりで、また、適度な緊張感をもって介助・Ope見学を行うこと。

平成24年度 臨床実習2 (10月～3月)

診療科名：顎関節・咬合科
担当教員名：成田紀之、西村均、内田貴之、小見山道、大久保昌和、神谷和伸、下坂典立、飯田崇
実施場所 病院3階診療室3、5、顎関節・咬合科（口・顔・頭の痛み外来(歯科)）
① ユニット課題 ・顎関節・咬合科（口・顔・頭の痛み外来(歯科)）で症例の見学をする。 ・見学症例の診査・診断プロセスと治療の内容に関するレポートを提出する。 ・提出レポートについての口頭試問を受ける。
② 到達目標（GIO） 顎関節ならびに口腔顔面痛患者の診査・診断プロセスと治療に関する知識を習得する
③ 行動目標（SB0s） 1. 問診について説明できる。 1) 主訴と現病歴および既往歴について説明できる。 2) 疼痛の部位、性状、程度などについて説明できる。 2. 診査について説明できる。 1) 顎、顔面、頸部の筋の診査を説明できる。 2) 顎関節の診査を説明できる。 3) 運動制限の診査を説明できる。 4) 画像検査の説明ができる。 3. 診断について説明できる。 4. 病態および治療方針について説明できる。 5. 患者の管理について説明できる。 6. 予後について説明できる。
④ 学習方法（LS） 顎関節・咬合科（口・顔・頭の痛み外来(歯科)）での症例見学（3症例）を行う。 ・担当医へ見学症例のレポートを提出する。 ・担当医からレポートの内容の口頭試問を受ける。
⑤ 評価方法（EV） 症例見学（3症例）を行う。担当医へ見学症例のレポートを提出する。担当医からレポートの内容の口頭試問を受ける。
⑥ 備 考（その他留意事項等） ・わからないことは何でも聞くようにして下さい。 ・担当医から診断の基準をよく習ってください。 参考図書 TMDを知る ベルの口腔顔面痛 口腔顔面痛 基礎から臨床へ Okeson TMD 口腔顔面痛の最新のガイドライン改訂第4版 クインテッセンス出版1997 クインテッセンス出版1998 クインテッセンス出版2001 医歯薬出版 2006 クインテッセンス出版2009

平成24年度 臨床実習2 (10月～3月)

診療科名：口腔インプラント科
担当教員名：加藤 仁夫、村上 洋、井下田 繁子、玉木 大之、北川 剛至、毛塚 和哉、安岡 沙織、櫻井 甫、薄倉優美、竹野 智崇
実施場所 1. 3階口腔インプラント科診療室、口腔外科小手術室、4階手術室 2. インプラント説明会会場 3. 総合診療室
① ユニット課題 インプラント治療の診断・計画・介補を行うために基本的な知識、技能、態度を習得する。
② 到達目標 (GIO) 骨結合型インプラントを理解するために種類、術式、適応症、禁忌症などについての知識を身につける。
③ 行動目標 (SB0s) 1) 欠損補綴におけるインプラント治療の位置づけを理解し、成功基準、リスク因子を説明できる。 2) インプラントの基本構造、表面性状を説明できる。 3) インプラント体の埋入術式を説明できる。 4) インプラントに必要な解剖学的形態について説明できる。 5) インプラント治療の特徴と適応症と禁忌症について説明できる。 6) インプラント治療に必要な診察・検査を説明できる。 7) インプラント治療の治療計画の立案、インフォームド・コンセントについて説明できる。 8) インプラント手術の術式について説明できる。(補助手術含む) 9) インプラント治療に必要な補綴治療について説明できる。 10) インプラントのメンテナンス・リコールについて説明できる。 11) インプラント治療における合併症の対処法について説明できる。 12) インプラント周囲炎の病態と対処法について説明できる。
④ 学習方法 (LS) 1. 計画室担当患者；指導医のもと、インプラント治療に関する一連の診療について見学・介補・実技を義務付ける。担当医に確認すること。 2. インプラント説明会：臨床実習1に準じる。 3. インプラント外科処置・補綴処置見学：1回の見学・介補は、2人まで。事前に担当医のアポイント、指示を必要とする。
⑤ 評価方法 (EV) ・ 検印表の検印数、レポートの提出による。 ・ レポートの提出の際には、口頭試問を実施する。

⑥ 備 考（その他留意事項等）

- ・事前学習の上で、すべての実習に参加すること。
- ・インプラント外来の見学介補について：患者の都合で変更もあり。
見学の際には、必ず事前に予約し、アポイント印をもらうこと。
1回の見学は、2名まで。
- ・模型実習は、指定日に参加。（病欠など診断書がある場合には応相談、それ以外不可）
- ・配属期間中の検印のみ有効。チーム診療の担当患者の場合には、通年で検印有効。
- ・レポートは、口腔インプラント講座医員（教育医員）のみ。
他は、口腔インプラント科員の検印有効。
- ・レポートは、規格以外のものは受け付けない。見学日より、10日以内に担当医の検印を受け提出。

表紙：①院内番号②学籍番号③氏名④見学日⑤担当医⑥課題名⑦提出日を記載
A4用紙で表紙を入れて4枚（厳守）、参考文献、図表を添付必須。

*最初のクールで見学をしないと検印が足りなくなります。
患者の都合で予約変更になることも考慮して下さい。

平成24年度 臨床実習2（10月～3月）

診療科名：スポーツ健康歯科
担当教員名：川良美佐雄（教授），黒木俊一（准教授），小見山 道（専任講師），鈴木浩司（専任講師），浅野 隆（専任講師），飯田 崇（助教）
実施場所 日本大学松戸歯学部付属病院3階総合診療室
① ユニット課題 ・スポーツマウスガード製作のための印象採得・装着・調整の見学 ・睡眠時無呼吸症候群患者の口腔内装置製作治療における印象採得・装着・調整の見学
② 到達目標（GIO） 患者の口腔外傷予防や健康増進に対する要望に応えるために，スポーツ歯科医学や睡眠健康科学に必要な知識，態度，技能を習得する。
③ 行動目標（SBOs） ・スポーツにおける顎口腔系の動態について説明できる ・スポーツマウスガードの目的を説明できる ・いびきや睡眠時無呼吸症候群の病態を説明できる ・いびきや睡眠時無呼吸症候群の歯科的対応について説明できる
④ 学習方法（LS） ・模型印象等の実技 ・チェアサイドでの診療見学および介補
⑤ 評価方法（EV） 1. 臨床実習に臨む態度を評価 2. 介補、見学時の態度を評価 3. レポート、口頭試問により知識を評価 4. 評価は補綴科に含む
⑥ 備 考（その他留意事項等） 1. 臨床実習1・2の期間内に各々1回以上の見学を行い、レポート提出。その後、口頭試問を行う。 2. 見学ができなかった場合は、課題に対するレポート提出を行い、その後、口頭試問を行う。 3. レポートは見学後、2週間以内に担当医に提出する。 4. レポート提出後、速やかに口頭試問を受ける。 5. 見学のアポイントは担当医員に当該症例のアポイント状況を確認して取ること

平成24年度 臨床実習2 (10月～3月)

診療科名：脳神経外科

担当教員名：平山 晃康、荻野 暁義

実施場所

外来診察室(3階)、入院病棟、手術場、血管撮影室

① ユニット課題

頭頸部領域患者の診断と外科治療。

② 到達目標 (GIO) 頭蓋顎顔面および頭頸部領域患者に対し幅広い診断と治療計画が立案できるようになる。また、手術（血管内手術を含む）において必要な最低限の知識、技能、および態度を学修する。

③ 行動目標 (SB0s)

1. 適切な処置手術が選択できる。
2. 必要な術式が説明できる。
3. 助手として手術に参加できる。
4. 術前術後の患者管理について説明できる。

④ 学習方法 (LS)

(1) 学生に対する手術症例見学

:術前回診、手術見学および介補、術後回診、レポート、口頭試問

(2) 選択症例

臨床実習2の期間内に行なわれる手術症例の中から学生が希望するものを見学することができる。

1 症例につき学生2～3名。

⑤ 評価方法 (EV)

1. レポートの提出
2. 口頭試問

⑥ 備考 (その他留意事項等)

不明な点は、メール (hirayama.teruyasu@nihon-u.ac.jp) してください。

症例検討カンファランス

新患担当された症例の自分で立案した初期治療計画を所定の発表用フォーマットに基づいて提示し、鑑別診断・検査の進め方・初期治療方針などの診療ステップを担当指導教員および聴講学生とディスカッションを行う。なお、発表内容について各科指導教員が所定の評価シートに基づいて評価を行う。

GIO：患者指向型臨床実習を行うにあたり、症例に応じた治療計画を立案できるようになるために、患者情報を整理、分析、診断し、適切な治療方針が選択できる能力を習得する。

SBOs：

- 1) 主訴とその変遷を把握できる
- 2) 歯科的、医科的既往歴を把握できる。
- 3) 問題リストを重要度順に列記できる。
- 4) 適切な診断名を決定できる。
- 5) 立案した治療方法を説明できる。
- 6) 治療の順序を説明できる。
- 7) 治療進行予定を説明できる。
- 8) 治療完了時の状態を説明できる。
- 9) 治療終了後に行うメンテナンスについて説明できる。
- 10) 患者教育の必要性和具体的内容を説明できる。
- 11) 簡潔で理解しやすい症例の発表ができる。
- 12) 適切な研究用模型が作製できる。

臨床実習1：ペアポリ対象の6年次生の経過報告会の聴講を行う。ペアポリ対象が発表する際の聴講と各班毎、機材準備も含めた聴講3回、合計4回の聴講を行うこと（5月～）。

臨床実習2：各自新患担当された患者に対する自分が立案した初期治療計画の発表を2回行う（10月～，2月～）。なお発表の他、各班3回ずつの聴講を行い討議に参加すること。

日程については後日発表する。

院内生担当患者分類フローチャート



